

## 第1章 石井町の特性とまちづくりの課題

---





## 1. 石井町の特性

### 1-1. 位置・特性

本町は東西に約6km、南北に5.5kmの正方形に近い形であり、面積は28.85km<sup>2</sup>となっています。また、隣接する市町は、東側に徳島市、西側に吉野川市、南側に四国山脈の前山支脈の分水嶺を挟んで徳島市入田町及び名西郡神山町、北側に吉野川の清流を挟んで板野郡上板町となっています。

地勢は、吉野川流域の扇形に広がった沖積層の平野の一部で、吉野川の右岸に位置しています。吉野川がもたらした肥沃な平地と標高200m前後のなだらかな山地や丘陵地からなり、全面積の約4割が農耕地となっている緑豊かな自然の美しいまちです。



図 位置図

出典：国土数値情報

# 第1章 石井町の特性とまちづくりの課題

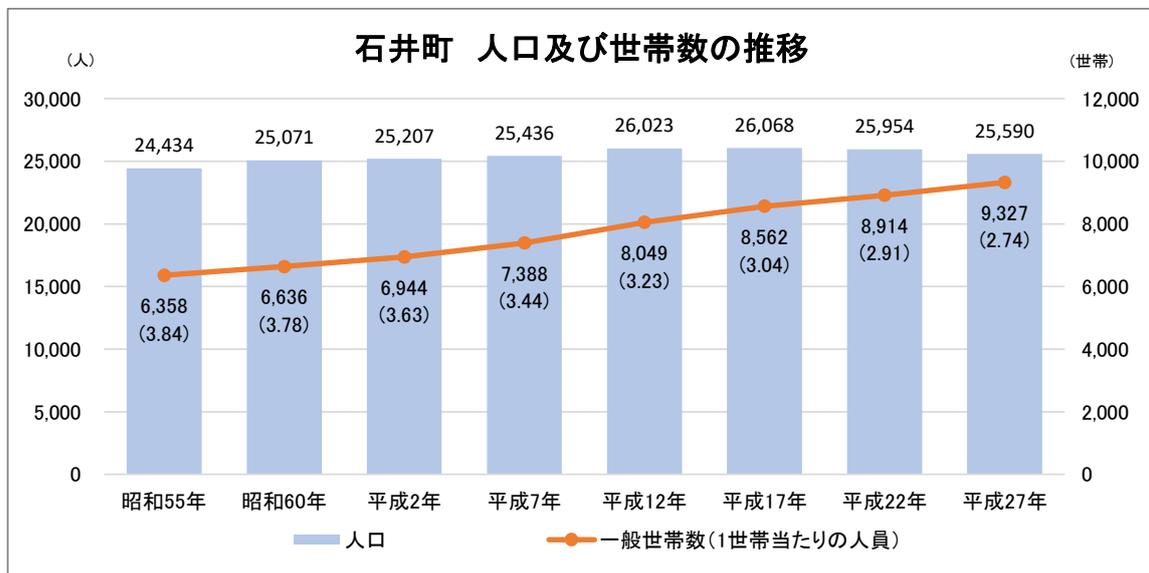
## 1-2. 人口動向

### (1) 総人口・世帯数

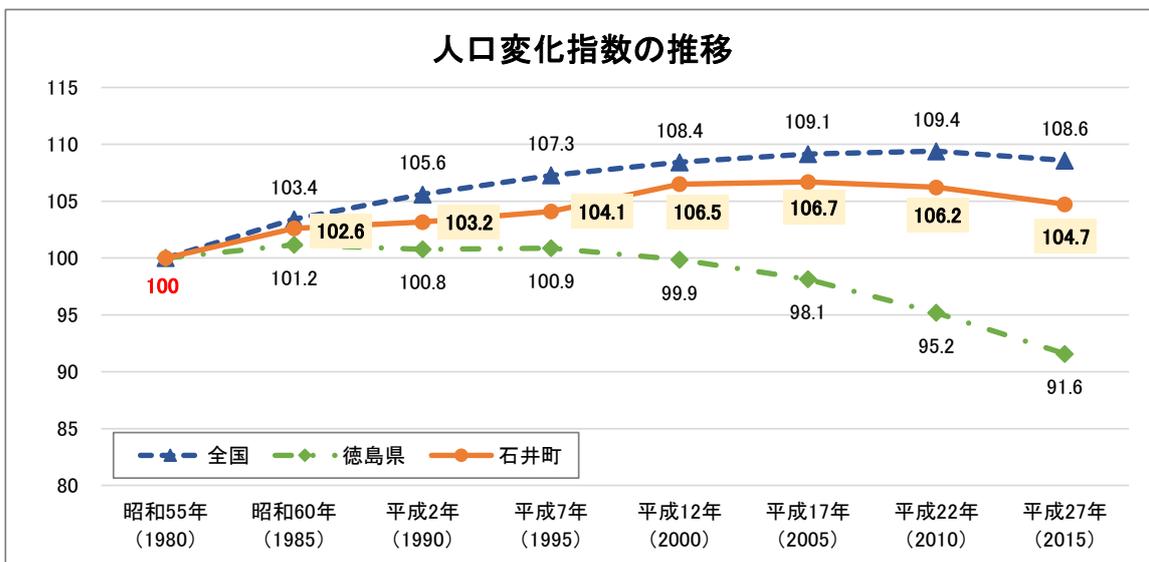
本町の総人口は概ね横ばい傾向で推移していますが、平成17年をピークに近年は微減しており、平成27年国勢調査では25,590人となっています。

総世帯数は平成27年国勢調査で9,327世帯と増加を続けています。一方で、一世帯当たりの人数は2.74人と減少傾向で推移しており、世帯規模が縮小しています。

また、昭和55年の人口を100とした場合の人口推移を、全国・徳島県・石井町で比較すると、徳島県では昭和60年以降減少傾向が続き、平成27年には91.6と大幅に減少しているものの、石井町では平成17年まで増加傾向にあり、近年は減少傾向となっており、全国よりやや低い値で同様な傾向にあります。



出典：「昭和55年～平成27年国勢調査」(総務省統計局)を基に作成

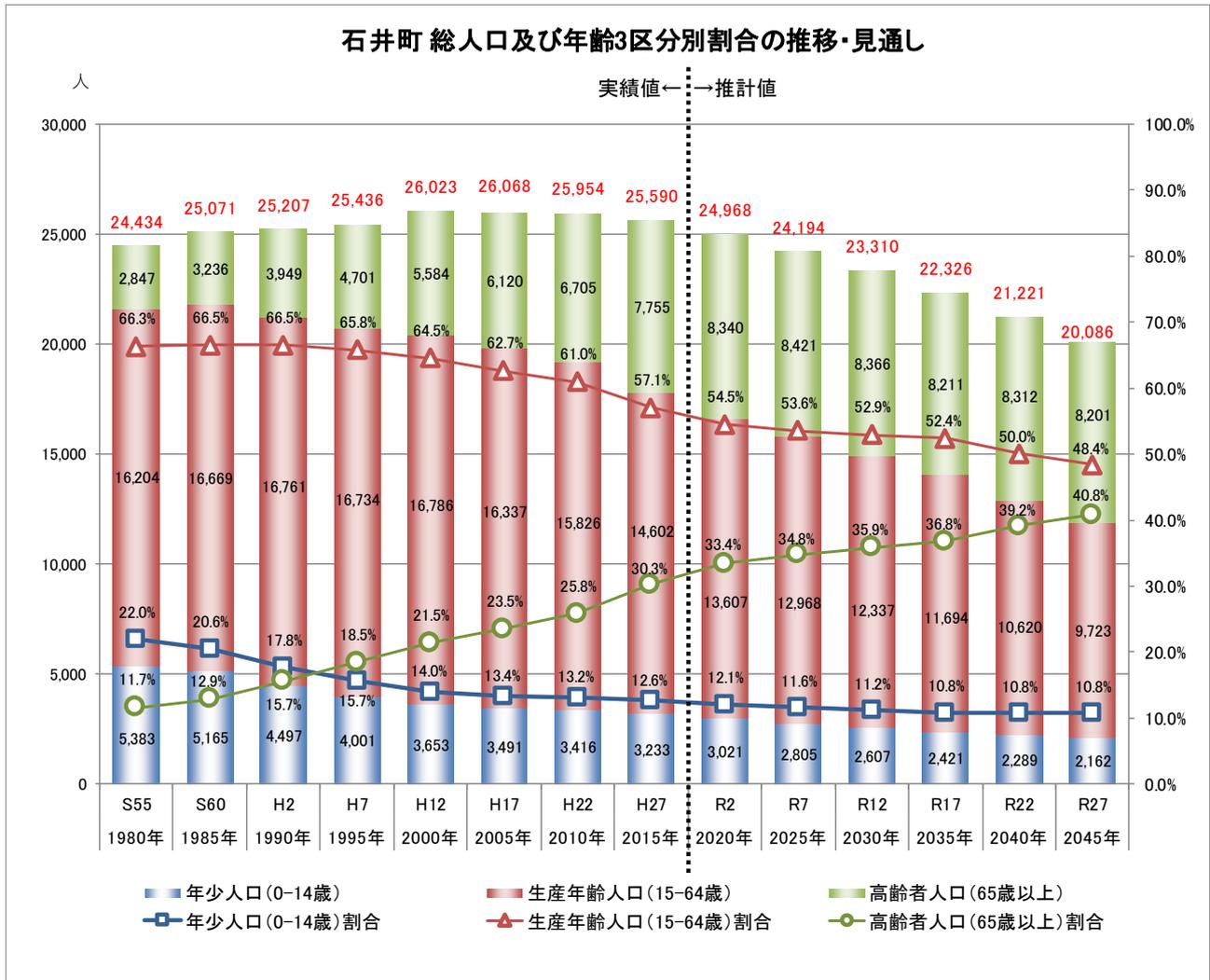


出典：「昭和55年～平成27年国勢調査」(総務省統計局)を基に作成

## (2) 年齢3区分人口

平成27年の年齢3区分別の構成比率を見ると、15歳未満の年少人口割合は12.6%、15歳から65歳未満の生産年齢人口割合は57.1%、65歳以上の高齢者人口割合は30.3%となっています。

国立社会保障・人口問題研究所の将来推計人口によれば、高齢化の進行はさらに進み、令和17(2035)年には高齢者人口割合は36.8%（全国平均32.8%）に達すると予測されています。



出典：国勢調査、『日本の地域別将来推計人口』（平成30年3月推計）（国立社会保障・人口問題研究所）

# 第1章 石井町の特性とまちづくりの課題

## (3) 区域別人口増減状況

徳島東部都市計画区域における平成22年から平成27年の人口の増減を見ると、徳島東部都市計画区域全体で2.36%減少しており、特に市街化調整区域での減少率が3.36%と高くなっています。

一方で、石井町においては、石井町全域で1.54%減少しているものの、徳島東部都市計画区域全体よりも人口減少が緩やかとなっています。また、市街化調整区域の人口増減率が-3.75%と減少傾向にあるものの、市街化区域の人口増減率は+2.00%と増加傾向にあります。

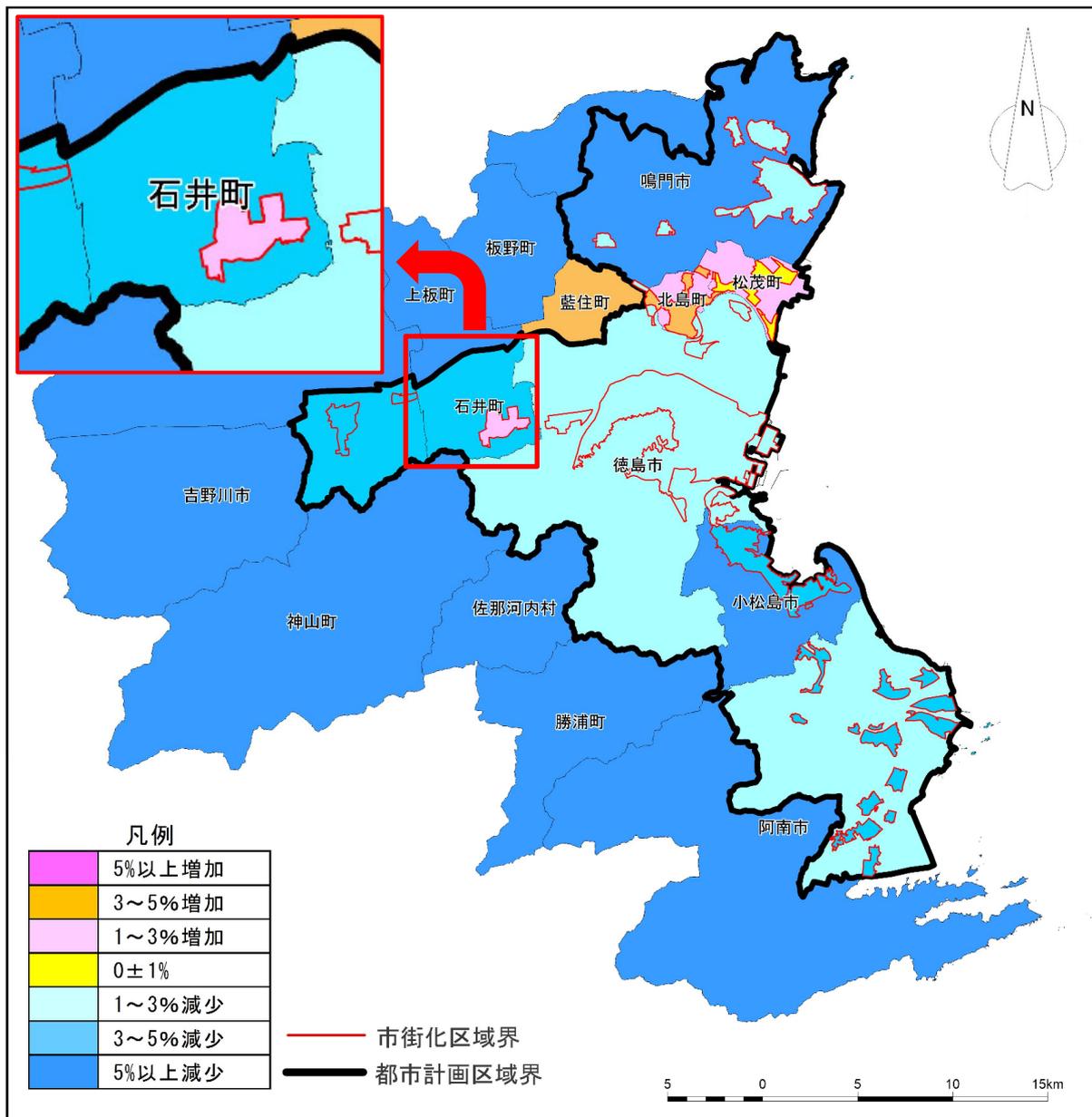
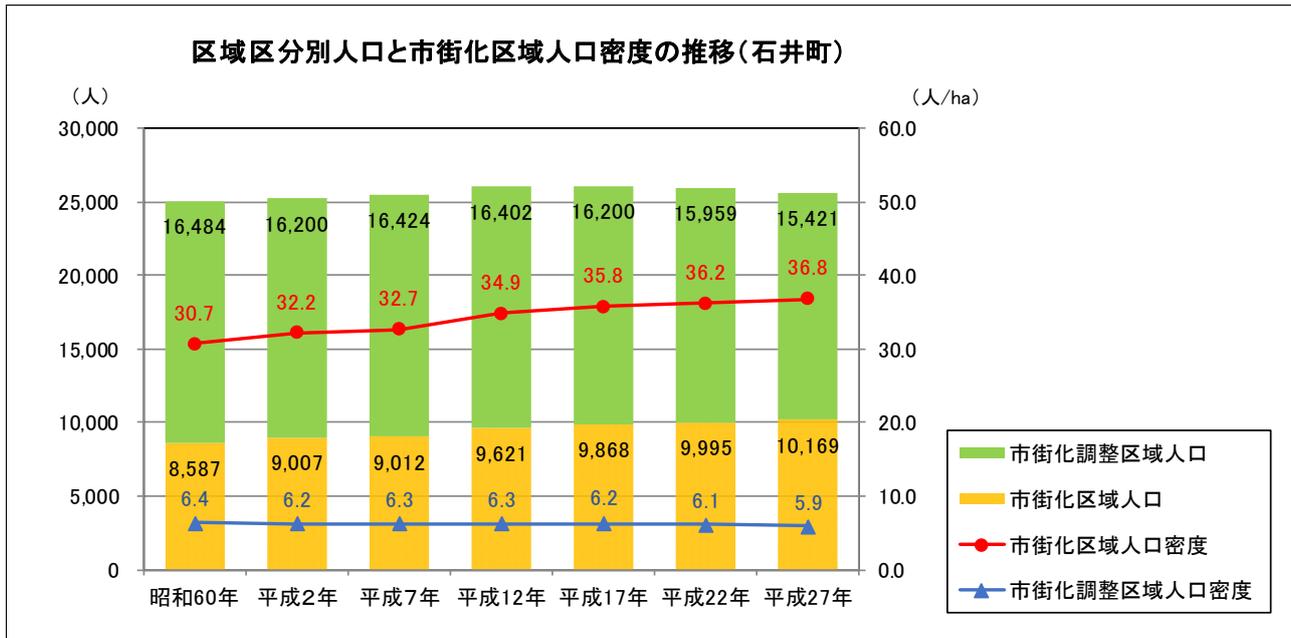


図 市町村別、区域別人口増減(平成22(2010)年と平成27(2015)年の比較)

出典：R1 都市計画基礎調査分析業務報告書

## (4) 人口密度の推移

本町における人口密度の推移を見ると、平成27年の市街化区域の人口密度は36.8人/haとなっており、徳島東部都市計画区域内の8市町のうち、徳島市(50.9人/ha)、北島町(37.3人/ha)に次いで高くなっています。また、人口総数が横ばいに推移する中、市街化区域内の人口集中に伴って、市街化区域内の人口密度は増加傾向にあります。



出典：R1 都市計画基礎調査分析業務報告書

### ● 市街化(調整)区域人口、面積、人口密度の推移

(単位：人、ha、人/ha)

市町名		実績値						
		昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
石井町	市街化区域人口	8,587	9,007	9,012	9,621	9,868	9,995	10,169
	市街化区域面積	280	280	276	276	276	276	276
	市街化区域人口密度	30.7	32.2	32.7	34.9	35.8	36.2	36.8
	市街化調整区域人口	16,484	16,200	16,424	16,402	16,200	15,959	15,421
	市街化調整区域面積	2,593	2,593	2,607	2,607	2,607	2,607	2,609
	市街化調整区域人口密度	6.4	6.2	6.3	6.3	6.2	6.1	5.9

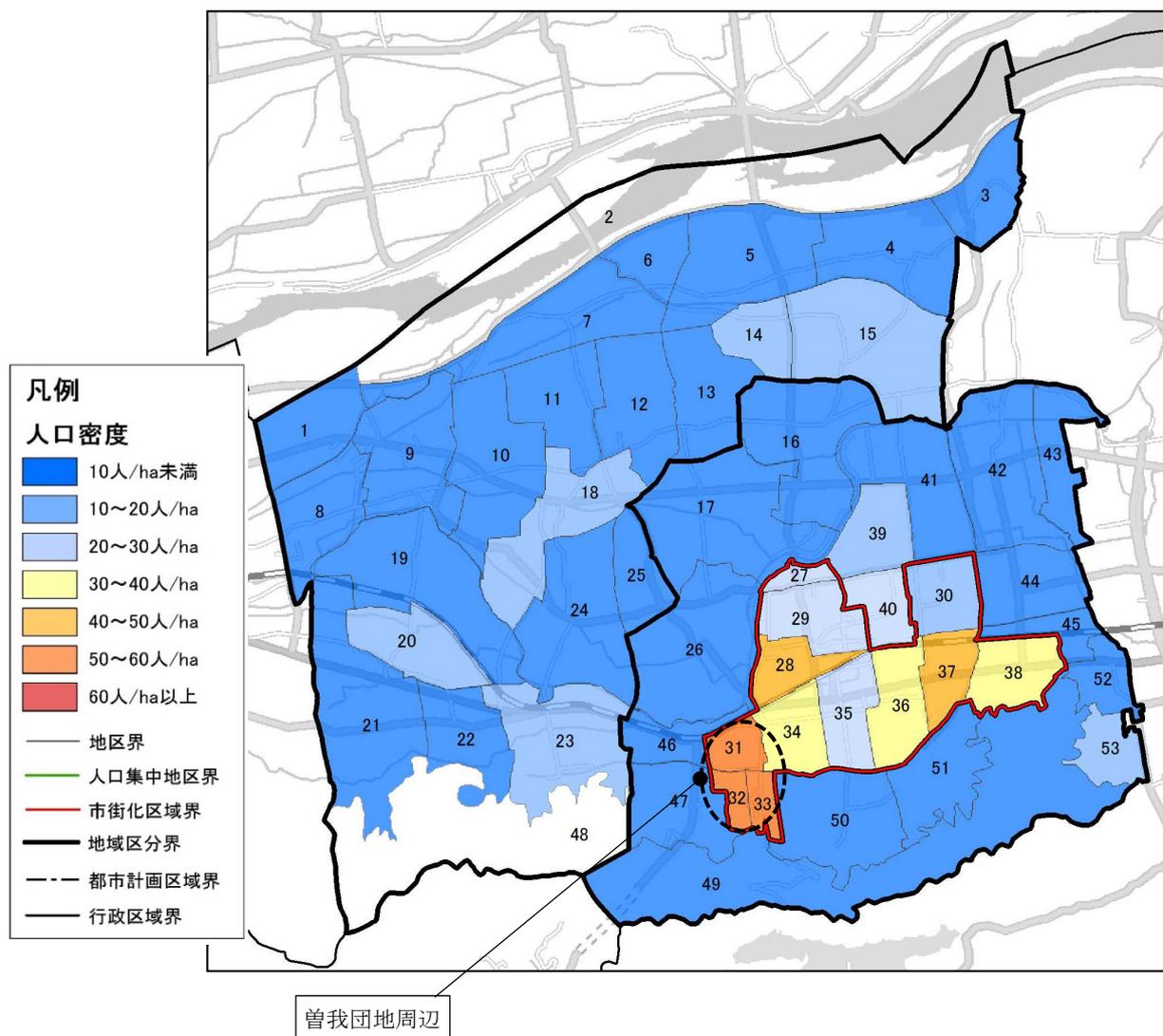
出典：R1 都市計画基礎調査分析業務報告書

## 第1章 石井町の特性とまちづくりの課題

### (5) 地区別の人口密度

市街化区域における人口密度は、概ね20~60人/haとなっています。特に、市街化区域南西部の曾我団地周辺(31・32・33)は50人/ha以上60人/ha未満と人口密度が高くなっています。

市街化調整区域における人口密度は、市街化区域に隣接する一部地区等に20人/ha以上30人/ha未満の人口密度もみられますが、多くの地区が人口密度10人/ha未満と低くなっています。



(注) 都市計画基礎調査区と調査区番号：「地区別人口密度図」に示された番号は調査区番号で、都市計画基礎調査では、国勢調査の小地域を基本として、町丁目界、区域区分界、用途地域界を重ね合わせた調査区を設定している。

図 地区別人口密度状況(平成27(2015)年)

出典：R1 都市計画基礎調査分析業務報告書

(6) 通勤・通学

通勤・通学における本町の流入・流出状況（その他市町村を含む）を見ると、流入4,047人に対して流出7,254人（※）と町外への流出超過傾向にあります。

また、本町の周辺市町との関係を見ると、特に徳島市への通勤・通学が顕著であり、流出入の差は2,500人を超えており、強い都市間のつながりがうかがえます。一方、阿波市、上板町からは流入が上回っています。

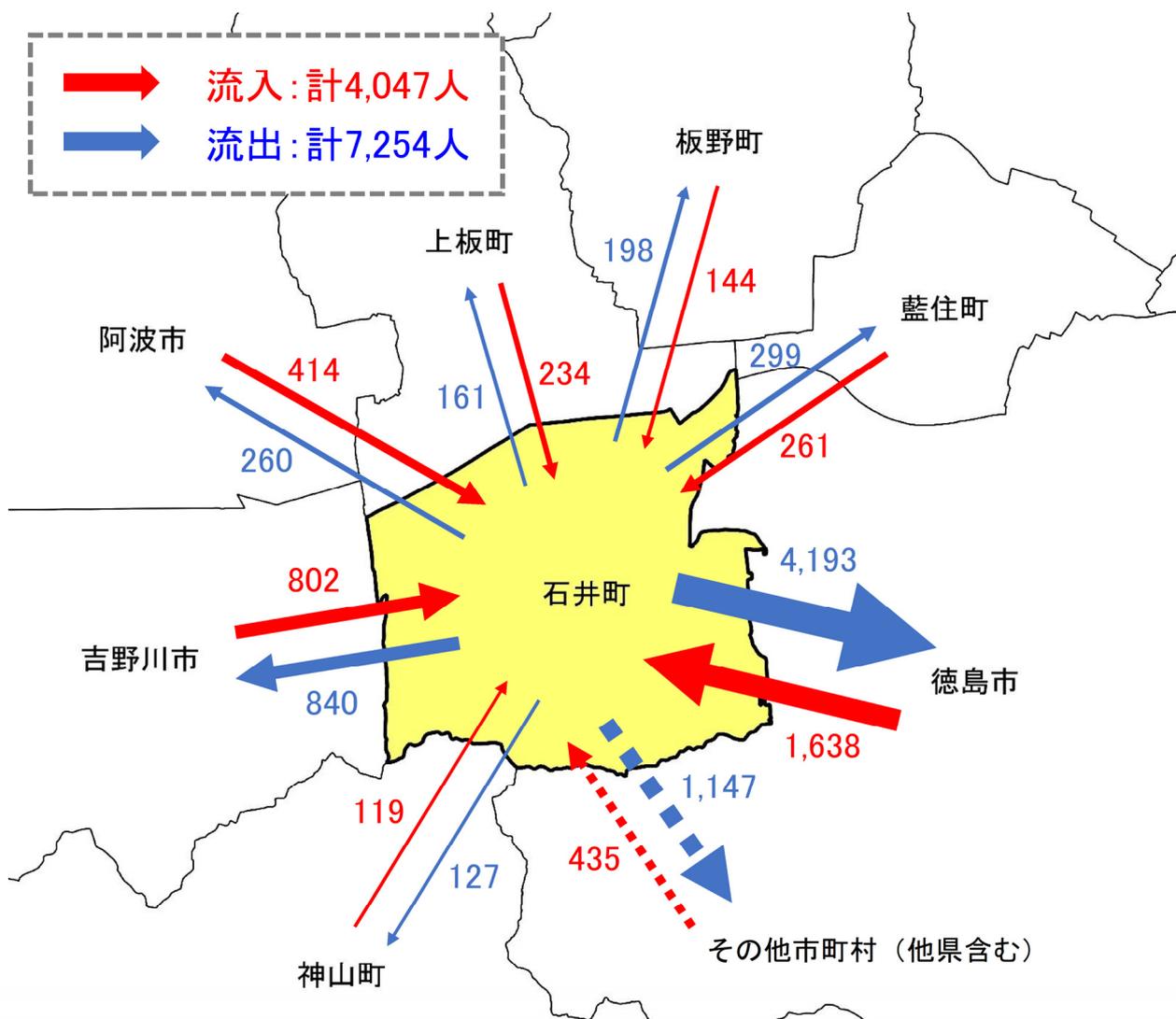


図 通勤・通学における本町への流入・流出状況(平成27(2015)年)

出典：「平成27年度国勢調査（従業地・通学地による人口・就業状態等集計）」

(総務省統計局)を加工して作成

※ 流出数の合計値7,254人は、“従業・通学市区町村（不詳・外国）”の値を含んでいるため、図中の合計値と合わないことに留意する。

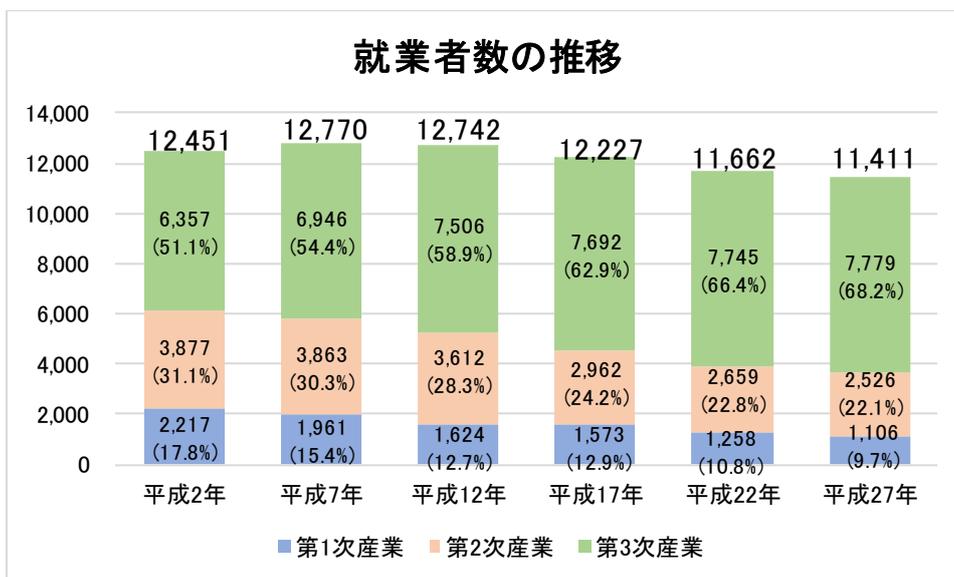
# 第1章 石井町の特性とまちづくりの課題

## 1-3. 産業動向

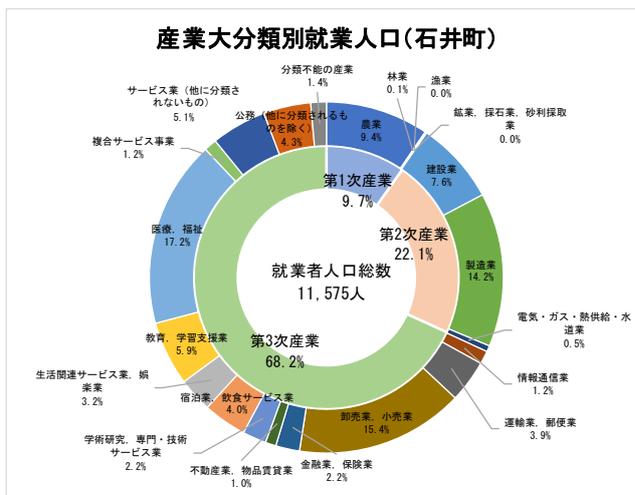
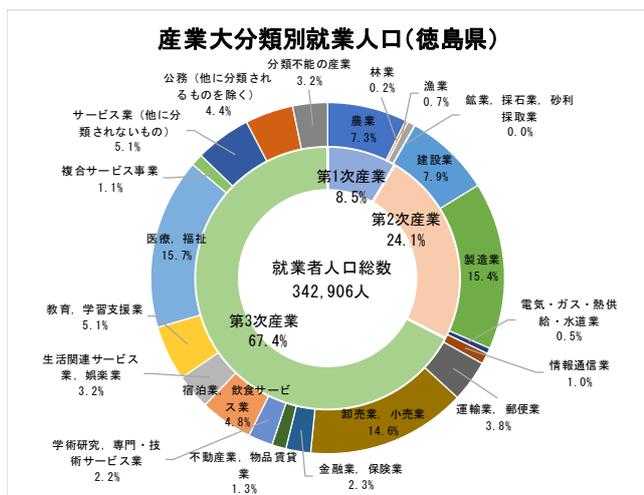
本町の就業者総数は、人口の動向を反映して減少傾向で推移しており、平成27年の国勢調査では11,411人となっています。

産業3部門別の就業者数の構成比率を見ると、農業、林業、水産業などの第1次産業は9.7% (1,106人)、建設業、製造業などの第2次産業は22.1% (2,526人)、サービス業などの第3次産業は68.2% (7,779人) となっています。

第1次産業では農業、第2次産業では製造業、第3次産業では医療・福祉の割合が高くなっています。また、徳島県全体の傾向と比較すると、農業や卸売業・小売業、医療・福祉などの割合が高いことが特徴です。



出典：「平成2年～平成27年国勢調査」（総務省統計局）を基に作成



出典：「平成27年度国勢調査」（総務省統計局）を基に作成

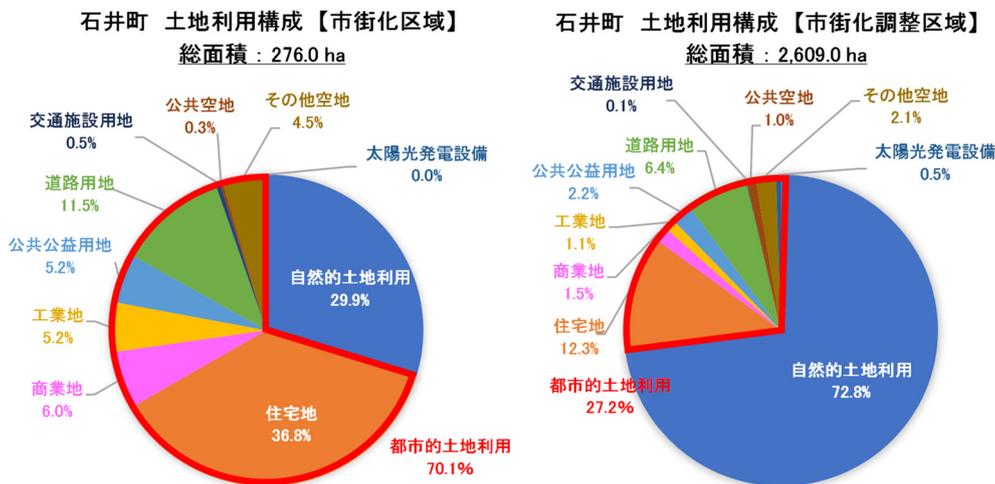
1-4. 土地利用の動向

(1) 土地利用現況

本町の総面積は2,885.0haであり、その全域が都市計画区域となっています。そのうち、市街化区域は276.0ha、市街化調整区域は2,609.0haとなっています。

石井町の土地利用別面積において、市街化区域では、自然的土地利用が82.4ha(29.9%)、都市的土地利用が193.6ha(70.1%)となっており、中でも住宅地の割合が高くなっています。一方、市街化調整区域では、自然的土地利用1,899.1ha(72.8%)に対し、都市的土地利用が709.9ha(27.2%)となっています。

なお、徳島東部都市計画区域全域において、市街化区域では、自然的土地利用が18.1%、都市的土地利用が81.9%、市街化調整区域では、自然的土地利用が79.8%、都市的土地利用が20.2%となっていることから、石井町では市街化区域内に比較的多くの自然的土地利用が残されているとともに、市街化調整区域では都市的土地利用が多いという特徴があります。



出典：R1 都市計画基礎調査分析業務報告書

平成25年～平成29年にかけての新築建物の動向をみると、市街化区域では約40件/年から約80件/年程度、市街化調整区域では50件/年から約60件/年程度で推移しています。

用途別建物件数の割合では、住宅が90.8%と圧倒的に多く、商業4.0%、工業0.9%となっています。

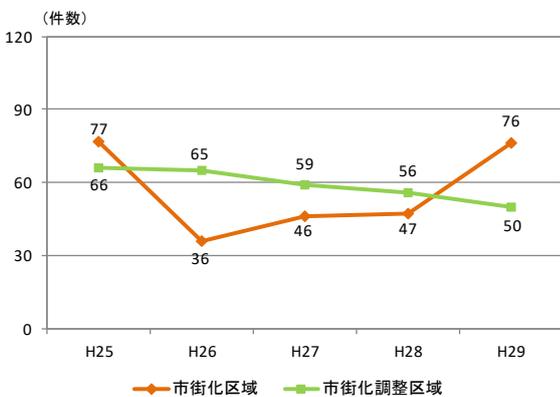


図 新築建物の動向

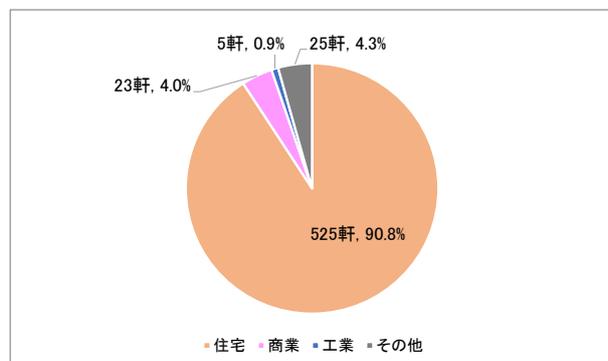


図 新築建物の用途別件数割合

出典：R1 都市計画基礎調査分析業務報告書

# 第1章 石井町の特性とまちづくりの課題

平成30年の土地利用の現況を見ると、南側に山林があり、北側に吉野川による水面やその他自然地、畑等があります。市街化区域内や道路沿道には、主に住宅用地があり、その他の地域については、田や住宅用地が分散しています。

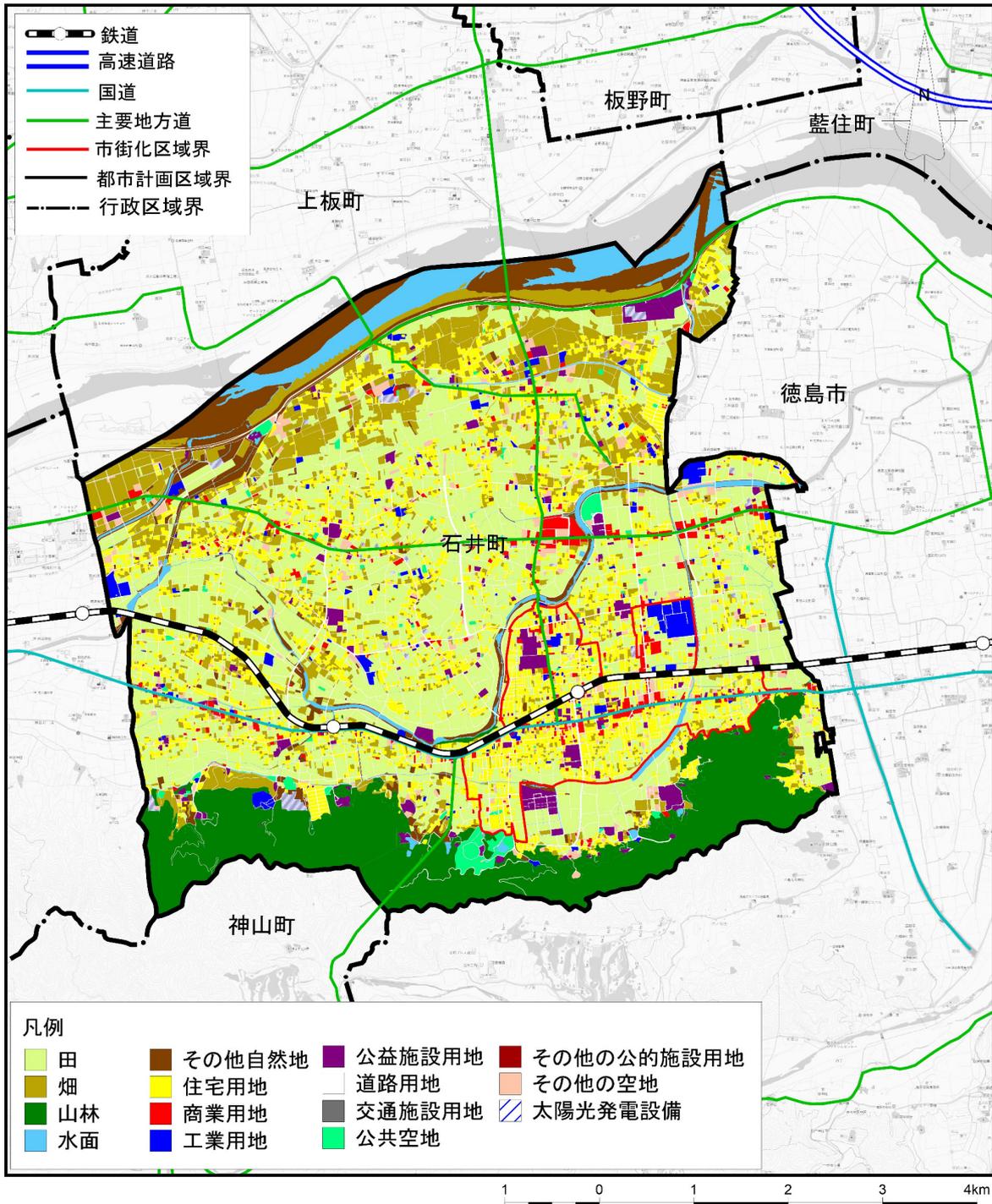


図 土地利用の現況(平成30(2018)年)

出典：平成30年度都市計画基礎調査(表3-2 地区別土地利用別面積)

## (2) 土地利用規制

市街化区域内には用途地域が指定されており、J R石井駅南側の一体を商業地域、国道192号沿道を近隣商業地域、それら周辺を取り囲むように住居系の用途地域が指定されています。

表 用途地域

種類	面積 (ha)	構成比 (%)
第一種低層住居専用地域	70.0	25.4
第二種低層住居専用地域	61.0	22.1
第二種中高層住居専用地域	9.9	3.6
第一種住居地域	51.0	18.5
第二種住居地域	23.0	8.3
近隣商業地域	17.0	6.2
商業地域	15.0	5.4
工業地域	29.0	10.5

出典：都市計画現況調査 (H31. 3. 31 現在)

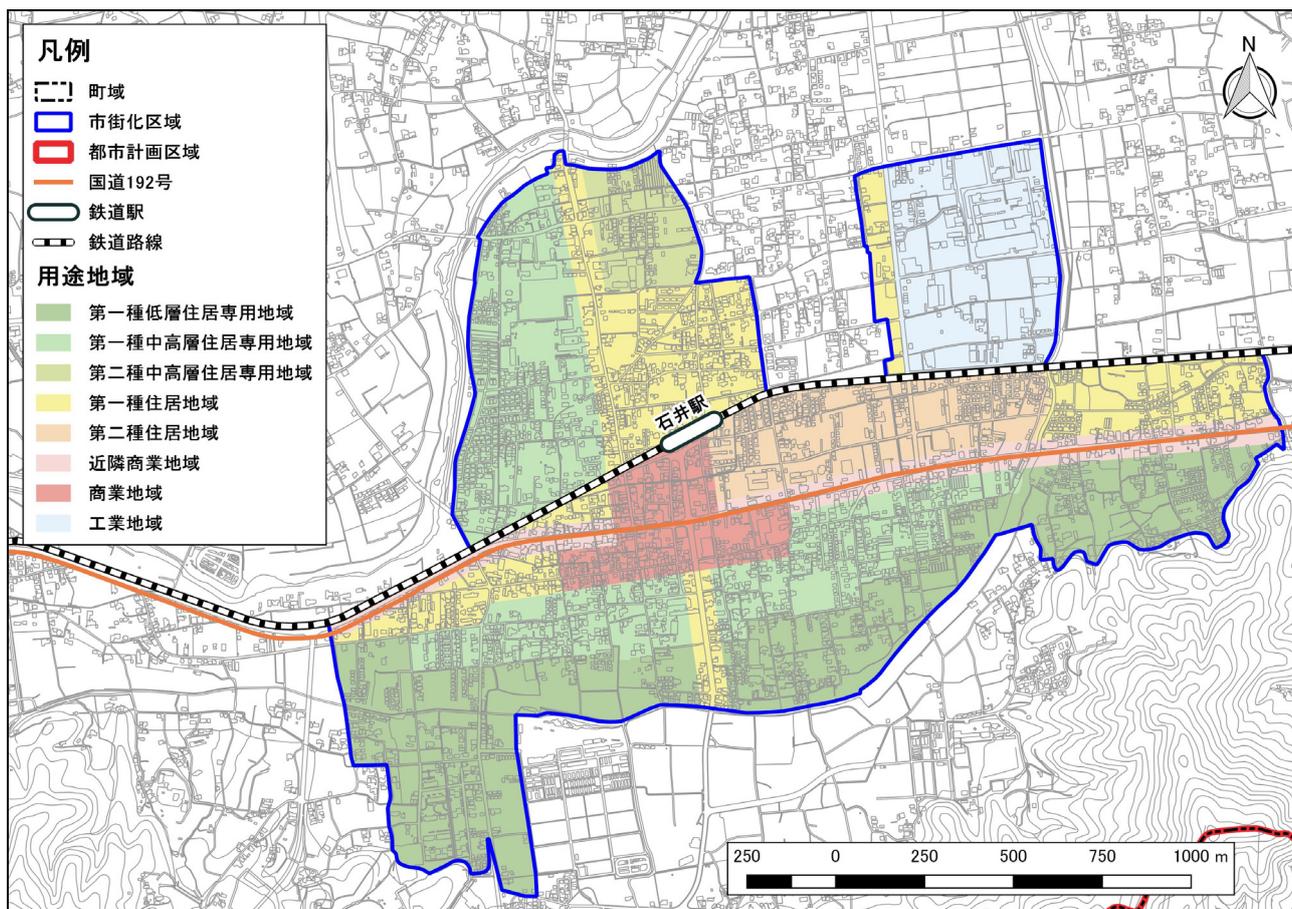


図 用途地域

出典：国土数値情報

# 第1章 石井町の特性とまちづくりの課題

## (3) その他の土地利用規制

その他の土地利用の法規制状況としては、市街化区域を除く全ての範囲が農業振興地域となっており、その大半が農用地区域となっています。また、町南部の山地において、地域森林計画対象民有林や保安林が指定されています。

また、平成25年から平成29年の農地転用の件数及び面積の推移をみると、市街化区域及び市街化調整区域ともに、増加傾向にあります。

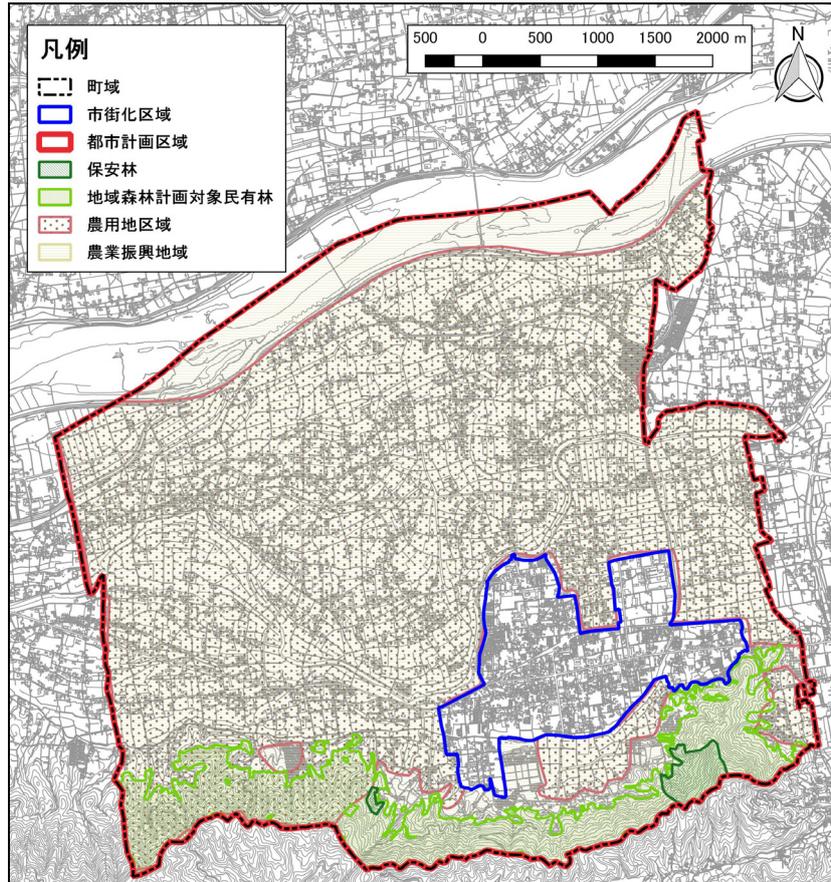


図 その他法規制の適用状況

出典：平成30年徳島県基礎調査

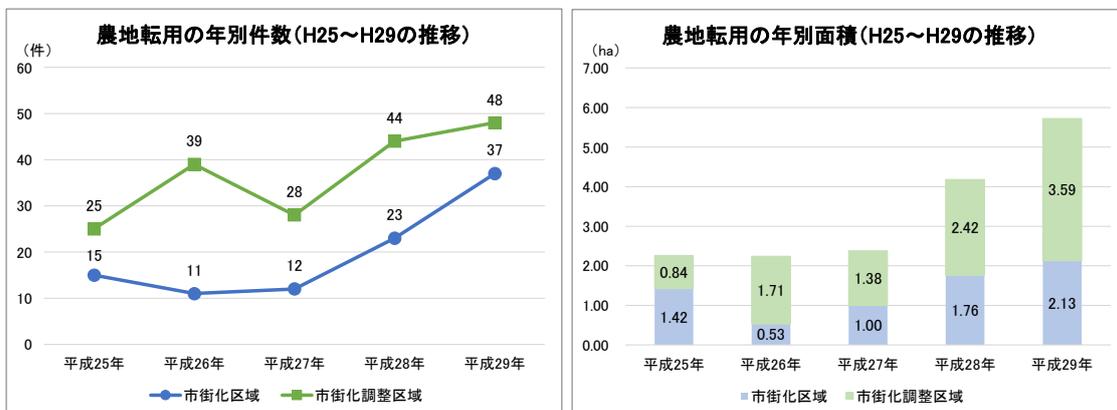


図 農地転用の状況

出典：平成30年徳島県基礎調査

## 1-5. 道路・公共交通

### (1) 道路

本町の主要な道路網は、国道192号、主要地方道德島吉野線、石井神山線、徳島鴨島線、石井引田線等から構成されています。

### (2) 公共交通

本町の公共交通として、JR徳島線が国道192号に沿って東西に運行しており、石井駅及び下浦駅の2駅があります。石井駅では徳島方面へ平日32便（うち特急4便）、阿波池田方面へは平日33便（うち特急5便）が運行されています。なお、特急での徳島・石井間の所要時間は10分程度となっています。

バス交通としては国道192号、主要地方道石井引田線、主要地方道德島鴨島線の旧道等で運行しています。また、石井駅乗車の大阪行き的高速バスが運行しています。

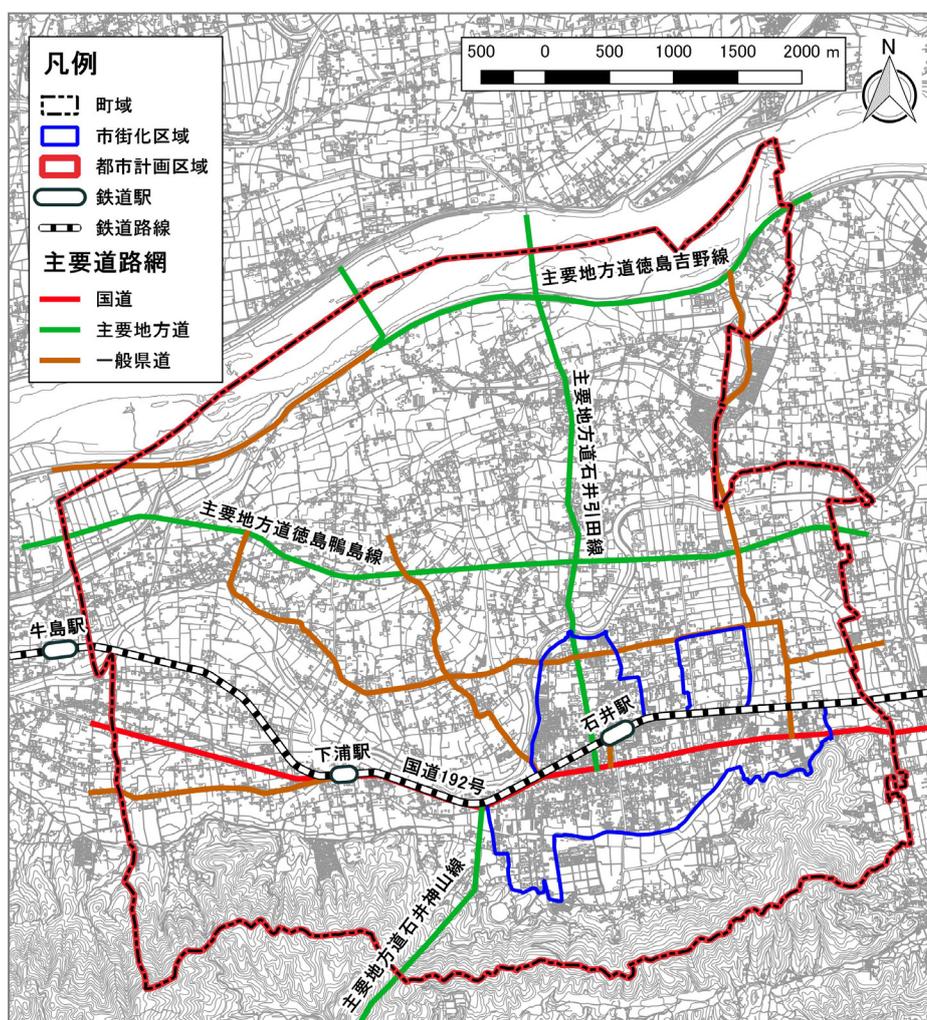


図 道路交通網

出典：国土数値情報

# 第1章 石井町の特性とまちづくりの課題

## 1-6. 都市施設の概況

### (1) 都市計画道路

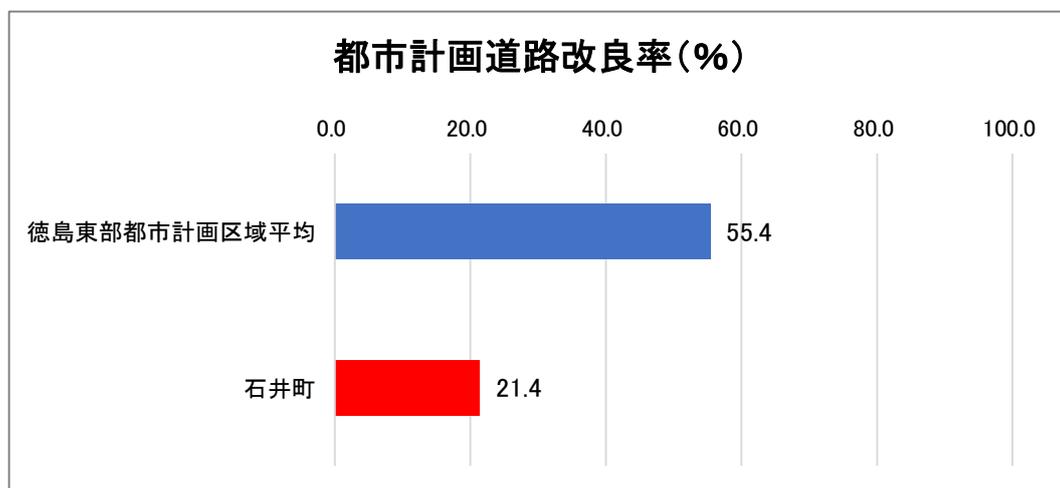
本町では、幹線街路が5路線、総延長 12,470m が都市計画決定されており、平成 31 年 3 月 31 日時点で改良率が 21.4% となっています。

国管理の徳島駅鴨島線(国道 192 号)については、歩道整備や交差点改良等が進められており、徳島県及び町管理の都市計画道路については、計画的な整備が進められています。

表 都市計画道路の整備状況

種別	路線番号	都市計画道路名	延長(m)
幹線街路	3・4・23	徳島駅鴨島線	6,100
幹線街路	3・4・116	石井駅山路線	680
幹線街路	3・4・117	石井南島線	1,100
幹線街路	3・4・118	城ノ内高川原線	3,750
幹線街路	3・5・119	見正寺野神線	840
合計			12,470
改良率			21.4%

出典：平成 30 年都市計画基礎調査、徳島県の都市計画 (H31. 3. 31 現在)



出典：徳島県の都市計画 (H31. 3. 31 現在)

(注) 改良率は、都市計画決定された道路延長に対する整備済み区間の延長と事業中区間の換算完成延長の合計の割合を求めたもの。

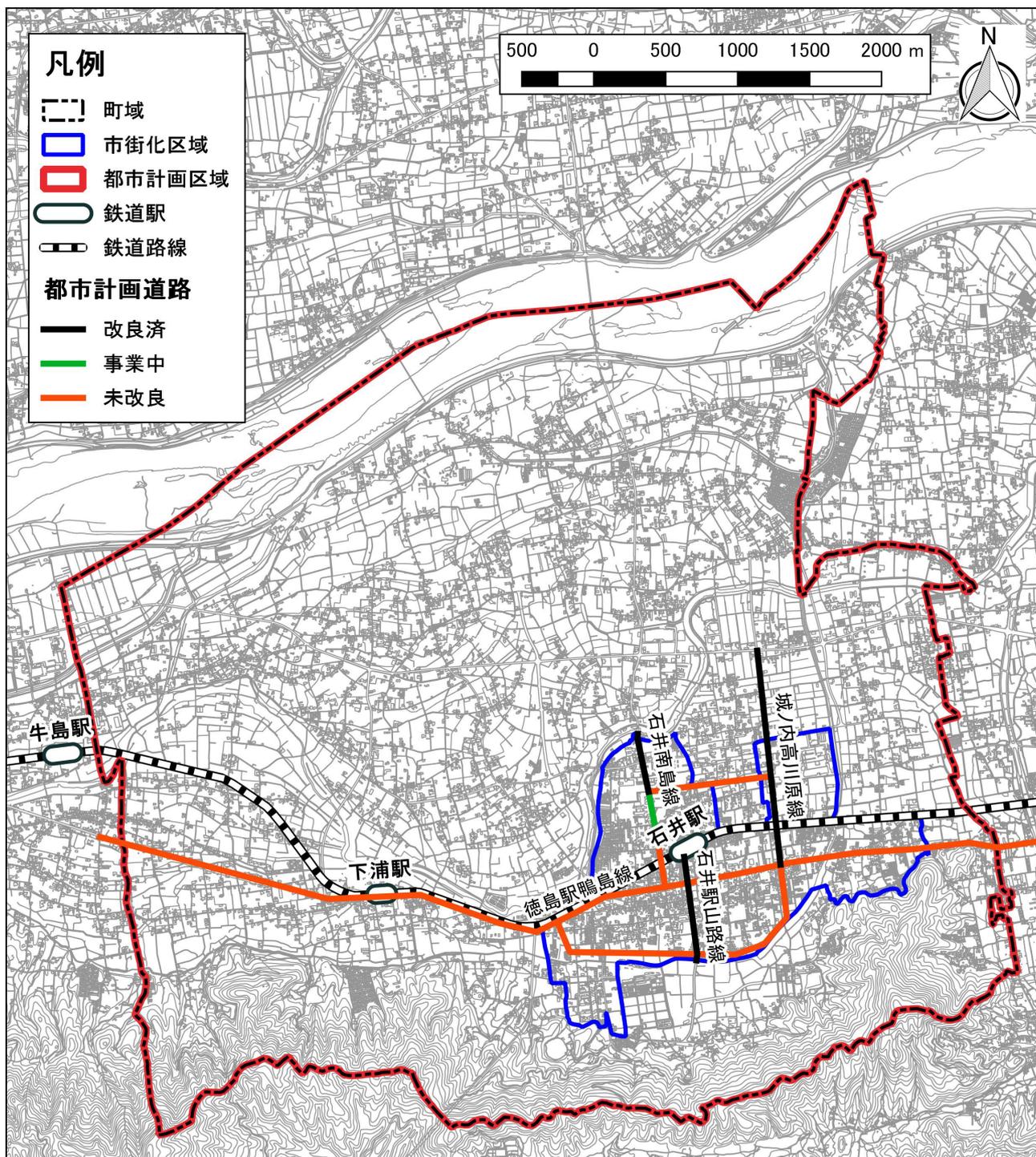


図 都市計画道路の整備状況

出典：平成30年都市計画基礎調査

## 第1章 石井町の特徴とまちづくりの課題

### (2) 都市計画公園

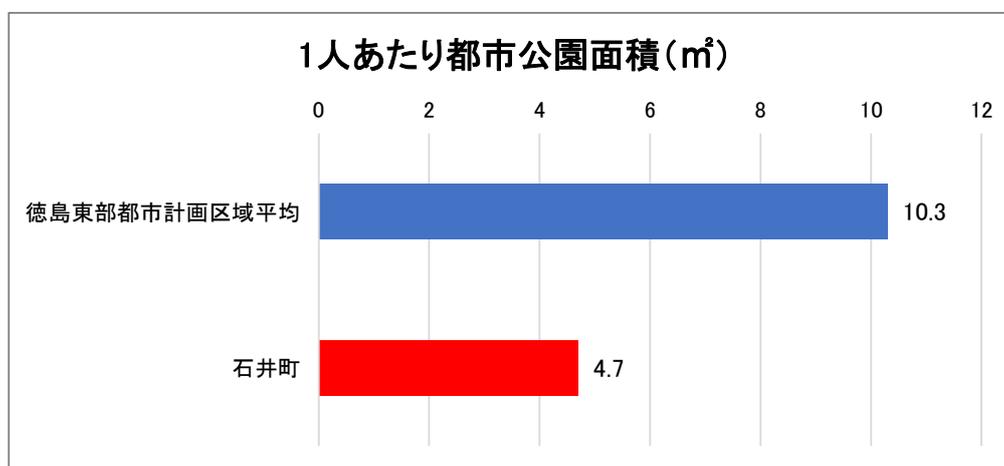
本町では、総合公園1公園、地区公園1公園、街区公園3公園、墓園1公園、計6公園が都市計画決定されています。平成31年3月31日時点で整備率は78.7%となっています。

また、1人あたりの供用済みの都市公園面積は、徳島東部都市計画区域平均10.3㎡に対して石井町は4.7㎡と低くなっています。

表 都市計画公園の整備状況

種別	番号	公園名	計画決定面積(ha)	供用面積(ha)
総合公園	5.5.7	前山公園	10.80	7.40
地区公園	4.4.3	飯尾川公園	4.40	4.40
街区公園	2.2.27	池田児童公園	0.15	0.15
街区公園	2.2.39	原児童公園	0.10	0.10
街区公園	2.2.60	高川原児童公園	0.13	0.13
墓園	8.2.2	原田墓地公園	0.40	0.40
合計			15.98	12.58
			整備率	78.7%

出典：平成30年都市計画基礎調査、徳島県の都市計画（H31.3.31現在）



出典：徳島県の都市計画（H31.3.31現在）

### (3) その他の都市施設

建築基準法第51条による施設は、石井町には5件あり、内訳は、ごみ焼却場1件（石井町清掃センター）、汚物処理場1件（クリーンセンター）、廃プラ類の焼却施設2件（民間事業者）、その他では、農業用（廃ビニール）中間処理施設が1件（民間事業者）となっています。

建築基準法第51条による施設とは、卸売市場、火葬場又はと畜場、汚物処理場、ごみ焼却場その他政令で定める処理施設のこと。これらの施設は、周辺の環境に与える影響が大きいため、都市計画区域内においては、敷地の位置が決定しているものでなければ建築することができない。

### 1-7. 自然災害

本町の北側には、日本三大暴れ川の一つで四国三郎の異名を持つ「吉野川」が流れており、気候としては年平均気温 15.8℃、年平均最高気温 20.0℃、年平均最低気温 12.2℃と温暖で冬期の積雪はまれです。平年の年間降水量は 1,743 mm で、月別には、台風襲来時（9月）が最も多く、12月が最も少なくなっています。

このような気象特性の中で、土砂災害警戒区域が 64 箇所（うち特別警戒区域 60 箇所）指定されています。平坦地形が大部分を占めていますが、一部の地域で土砂災害の危険性を有しています。

また、台風や集中豪雨により吉野川や飯尾川等による大規模な洪水浸水が危惧されており、想定最大規模降雨による浸水想定区域では市街地の大半が 3 m 以上の浸水区域となります。

南海トラフ地震による大規模な地震の被害も懸念されており、徳島県南海トラフ巨大地震被害想定（第一次）によると、震度 6～7 弱、建物全壊計 2,100 棟、最大死者数 130 人と想定されています。

加えて、吉野川北岸に中央構造線が横断しており、震度 6～7 弱の地震や液状化の危険性が想定されています。

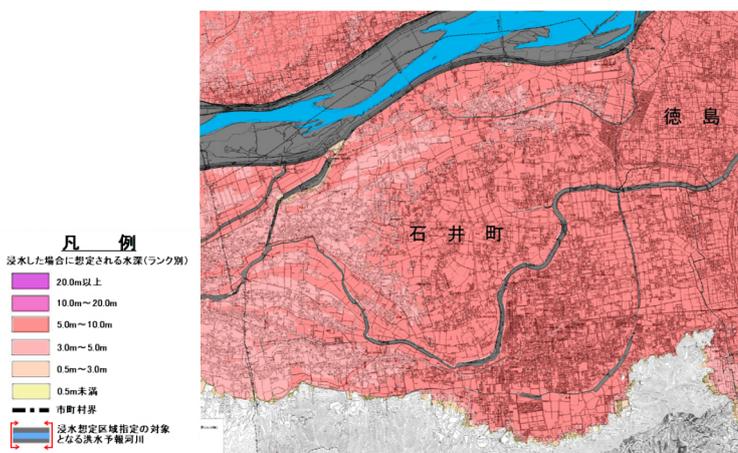


図 吉野川水系吉野川洪水浸水想定区域図（想定最大規模）

出典：徳島河川国道事務所

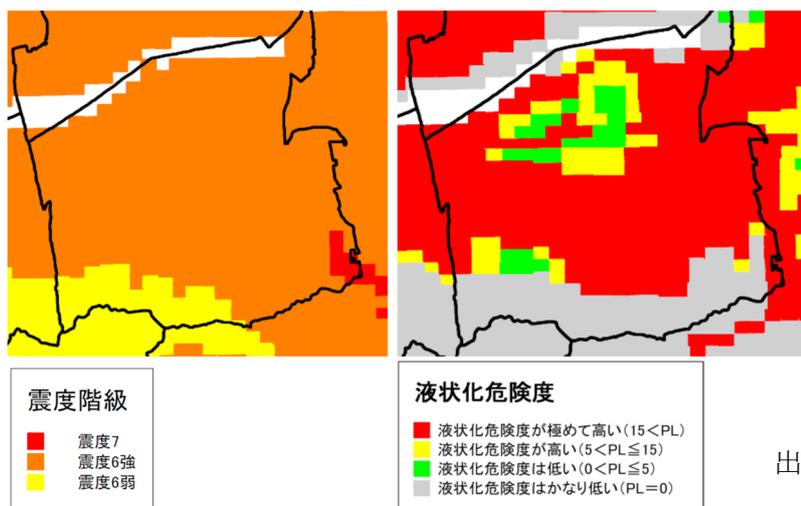


図 南海トラフ地震による震度と液状化危険度

出典：徳島県総合地図提供システム

表 土砂災害警戒区域及び特別警戒区域の指定状況  
【令和2年3月27日現在】

	警戒区域	
		うち特別
土石流	18	16
急傾斜	45	44
地すべり	1	-
	64	60

出典：土砂災害警戒区域等の指定状況（徳島県）

### 1-8. 自然環境・景観

本町は、吉野川流域の下流南岸に広がる平野に位置し、町の中央には吉野川に注ぐ飯尾川が湾曲しながら東流するほか、町内には渡内川、江川、神宮入江川などの河川が流れるなど、水に恵まれた地形を活かし、広大で豊かな田園地帯が形成されています。

また、町域の西から東に向かって緩やかな下降傾斜（標高5～12m）を描く比較的平坦な地勢となっています。

本町の景観資源としては、桜並木通りの桜、地福寺の藤、野鳥の森、椿園、吉野川第十堰、弘法大師ゆかりの童学寺、藍屋敷の田中家住宅や武知家藍寝床、石碑で名高い桜間の池跡等があります。

このように、山々の緑と吉野川の自然、特徴的な歴史と文化、人々の生活が、本町の景観の特徴となっています。



桜並木通りの桜



地福寺の藤



吉野川第十堰



藍屋敷の田中家住宅

写真：町HP、町資料より

## 2. 住民意向

### 2-1. 住民アンケート調査の概要

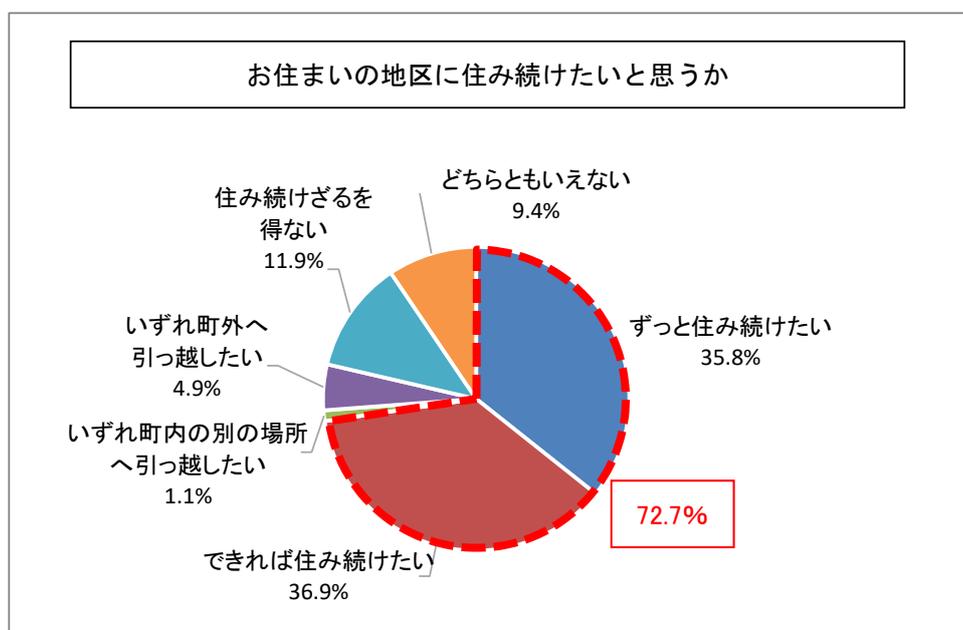
これまでのまちづくりに対する住民の評価や今後のまちづくりに関する意向を確認するため、アンケート調査を実施しました。調査の概要は以下の通りです。

項目	内容
① 対象地域	石井町全域
② 対象者	町内に居住する20歳以上の男女 2,000名
③ 調査方法	郵送による調査票の配布・回収
④ 調査期間	5月18日(月)～6月5日(金)
⑤ 回収率	44.6%(回収数は、892票)

### 2-2. 住民アンケート調査結果

#### (1) 定住意向について

現在住んでいる地区の定住意向について、7割以上の方が「ずっと住みたい」もしくは「できれば住みたい」と感じています。



# 第1章 石井町の特性とまちづくりの課題

## (2) 石井町全体の住みやすさの満足度・重要度

『石井町全体の住みやすさ』の満足度をみると、「① 緑や水などの自然の身近さや豊かさ」、「② 山並みや田園などの自然風景の美しさ」、「③ 宅地の広さやゆとり」は、3.5点を超えています。一方で、「①⑨ 娯楽・レジャー施設の充実」、「①⑥ 鉄道・バスなど、公共交通の充実」、「①⑤ 道路の整備状況」は、3.0点以下となっています。

また、『石井町全体の住みやすさ』の重要度をみると、全ての項目が3.5点を超えており、特に、「⑬ 医療施設や救急医療体制について」、「⑫ 山崩れ、洪水などの自然災害対策」、「⑭ 防犯体制について」、「⑥ 廃棄物（ごみ）の処理について」、「⑮ 道路の整備状況」は、4.0点を超えています。

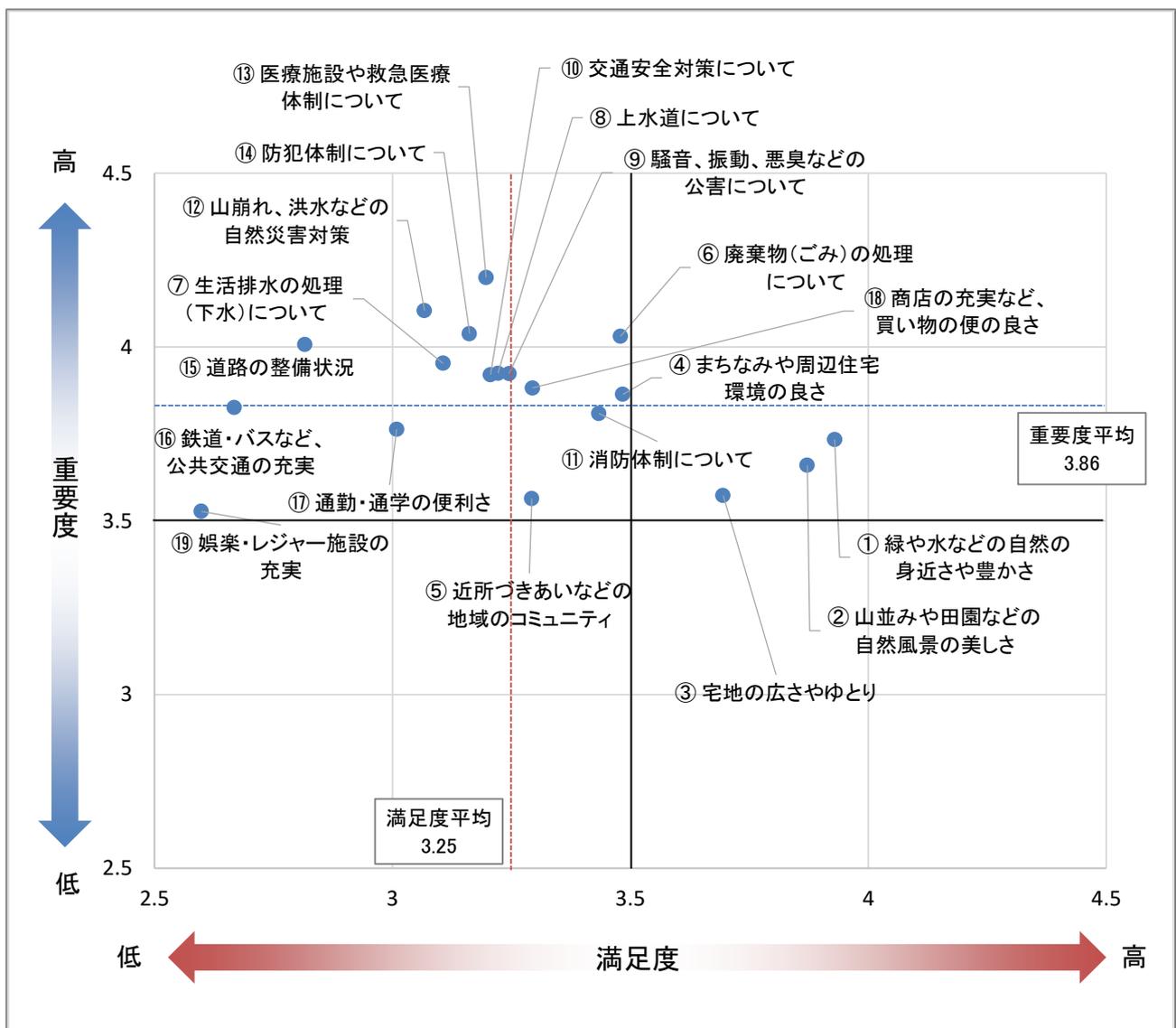


図 石井町全体の住みやすさの満足度・重要度の散布図

## 【地区別の住みやすさ 満足度】

- ・地区別に『地区の住みやすさ』の満足度の得点をみると、満足度の低い項目（満足度の平均が3.0点未満の項目）が最も多いのは、高川原地区となっています。
- ・「① 自然の身近さや豊かさ」、「② 自然風景の美しさ」、「③ 宅地の広さやゆとり」については、全ての地区で満足度が3.5点以上となっています。
- ・「⑮ 道路の整備状況」、「⑯ 公共交通の充実」、「⑲ 娯楽・レジャー施設の充実」については、全ての地区で満足度が3.0点未満となっています。

	石井町 全体	石井 地区	浦庄 地区	高原 地区	藍畑 地区	高川原 地区
①自然の身近さや豊かさ	3.93	3.94	4.13	3.99	4.00	3.69
②自然風景の美しさ	3.87	3.89	4.15	3.83	3.91	3.67
③宅地の広さやゆとり	3.69	3.62	3.91	3.81	3.85	3.55
④まちなみや周辺住宅環境の良さ	3.48	3.53	3.59	3.35	3.39	3.47
⑤地域のコミュニティ	3.29	3.27	3.47	3.30	3.28	3.25
⑥廃棄物の処理について	3.48	3.52	3.47	3.48	3.48	3.39
⑦生活排水の処理について	3.11	3.14	3.04	2.99	3.37	2.99
⑧上水道について	3.22	3.25	3.25	3.17	3.38	3.08
⑨騒音、振動、悪臭などの公害について	3.25	3.39	3.50	3.21	2.98	2.99
⑩交通安全対策について	3.21	3.26	3.31	3.24	3.16	3.04
⑪消防体制について	3.43	3.43	3.44	3.45	3.44	3.40
⑫自然災害対策	3.07	3.06	3.13	3.18	3.08	2.96
⑬医療施設や救急医療体制について	3.20	3.28	3.23	3.15	3.07	3.11
⑭防犯体制について	3.16	3.22	3.20	3.14	3.15	3.03
⑮道路の整備状況	2.82	2.87	2.82	2.84	2.73	2.74
⑯公共交通の充実	2.67	2.92	2.59	2.50	2.31	2.56
⑰通勤・通学の便利さ	3.01	3.18	3.01	2.89	2.63	2.99
⑱買い物の便の良さ	3.29	3.39	2.79	2.98	3.19	3.68
⑲娯楽・レジャー施設の充実	2.60	2.72	2.47	2.57	2.50	2.53
全ての項目の平均点	3.25	3.31	3.29	3.21	3.20	3.17

※**青字**：満足度の得点が3.5点以上の項目、**赤字**：満足度の得点が3.0点未満の項目

## 第1章 石井町の特性とまちづくりの課題

### 【地区別の住みやすさ 重要度】

・地区別に『地区の住みやすさ』の重要度の得点をみると、ほとんど全ての項目で、重要度が3.5点以上となっています。特に、「⑬医療施設や救急医療体制について」は、全ての地区で重要度が4.0以上となっています。

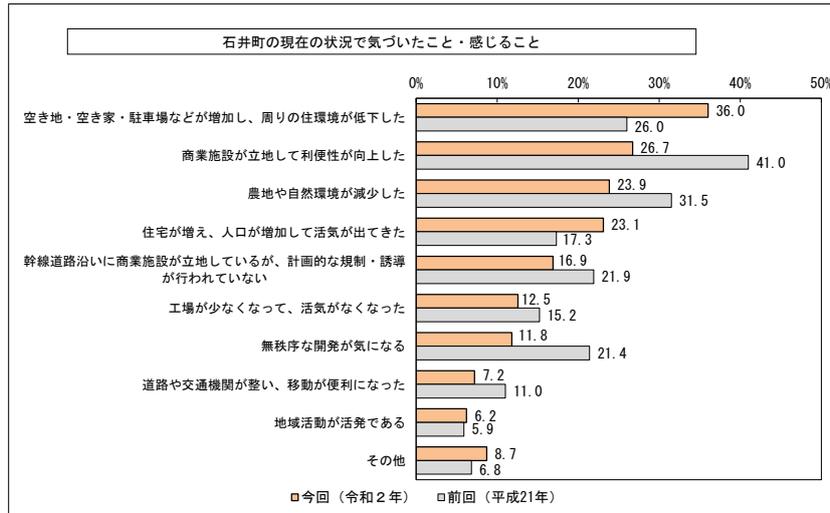
	石井町 全体	石井 地区	浦庄 地区	高原 地区	藍畑 地区	高川原 地区
①自然の身近さや豊かさ	3.73	3.74	3.94	3.43	3.79	3.73
②自然風景の美しさ	3.66	3.65	3.93	3.44	3.64	3.64
③宅地の広さやゆとり	3.57	3.59	3.70	3.40	3.61	3.52
④まちなみや周辺住宅環境の良さ	3.86	3.95	3.92	3.60	3.73	3.90
⑤地域のコミュニティ	3.56	3.61	3.60	3.61	3.44	3.51
⑥廃棄物の処理について	4.03	4.07	4.13	3.89	3.99	3.99
⑦生活排水の処理について	3.95	3.97	4.08	3.93	3.87	3.92
⑧上水道について	3.92	3.94	4.03	3.85	3.85	3.93
⑨騒音、振動、悪臭などの公害について	3.92	3.91	4.03	3.83	3.84	3.98
⑩交通安全対策について	3.92	3.91	4.03	3.83	3.84	3.98
⑪消防体制について	3.81	3.80	3.87	3.74	3.82	3.83
⑫自然災害対策	4.10	4.15	4.14	3.93	4.12	4.09
⑬医療施設や救急医療体制について	4.20	4.21	4.26	4.19	4.17	4.16
⑭防犯体制について	4.04	4.05	4.11	4.04	4.00	3.99
⑮道路の整備状況	4.01	3.96	4.18	3.93	4.04	4.01
⑯公共交通の充実	3.83	3.73	3.92	3.96	3.86	3.86
⑰通勤・通学の便利さ	3.76	3.71	3.89	3.69	3.72	3.86
⑱買い物の便の良さ	3.88	3.81	4.00	3.94	3.83	3.94
⑲娯楽・レジャー施設の充実	3.53	3.51	3.50	3.62	3.41	3.58
全ての項目の平均点	3.86	3.86	3.96	3.78	3.82	3.87

※青字：重要度の得点が3.5点以上の項目、赤字：重要度の得点が3.0点未満の項目

## (3) 石井町の現状

「空き地・空き家・駐車場などが増加し、周りの住環境が低下した」が36.0%と最も多く、次いで「商業施設が立地して利便性が向上した」が26.7%、「農地や自然環境が減少した」が23.9%となっています。

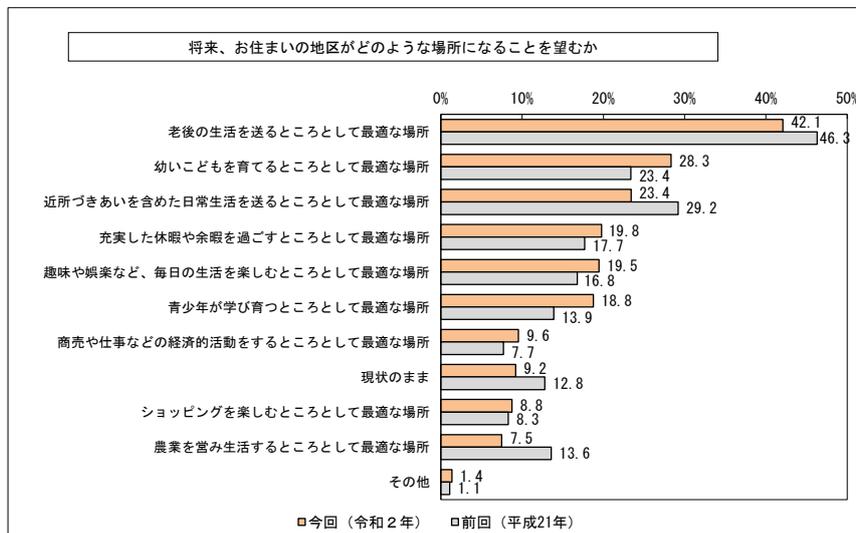
前回策定時と比較すると、「商業施設が立地して利便性が向上した」や「無秩序な開発が気になる」等が減少している一方、「空き地・空き家・駐車場などが増加し、周りの住環境が低下した」や「住宅が増え、人口が増加して活気が出てきた」等は増加しています。



## (4) 石井町全体の将来像

「老後の生活を送るところとして最適な場所」が42.1%と最も多く、次いで「若い子どもを育てるところとして最適な場所」が28.3%、「近所づきあいを含めた日常生活を送るところとして最適な場所」が23.4%となっています。

前回策定時と比較すると、「農業を営み生活するところとして最適な場所」や「現状のまま」等が減少している一方、「若い子どもを育てるところとして最適な場所」や「青少年が学び育つところとして最適な場所」等は増加しています。

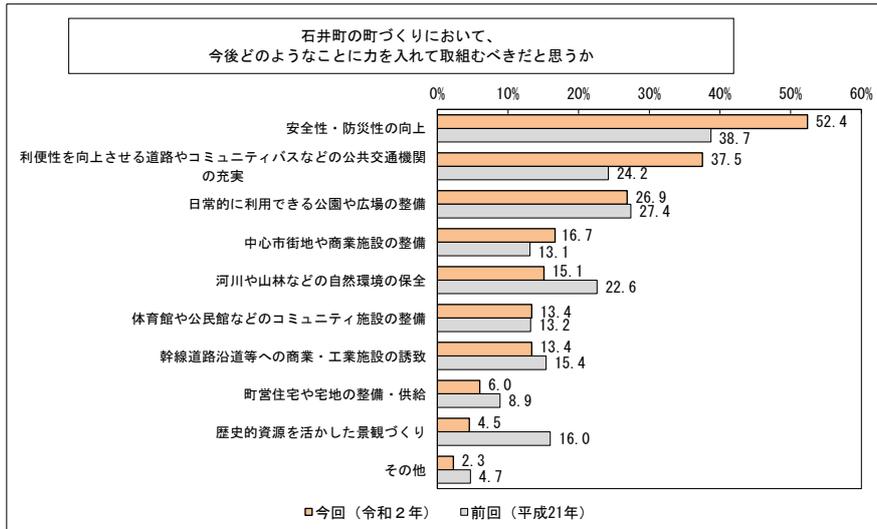


## 第1章 石井町の特性とまちづくりの課題

### (5) 石井町全体の重点施策

「安全性・防災性の向上」が52.4%と最も多く、次いで「利便性を向上させる道路やコミュニティバスなどの公共交通機関の充実」が37.5%、「日常的に利用できる公園や広場の整備」が26.9%となっています。

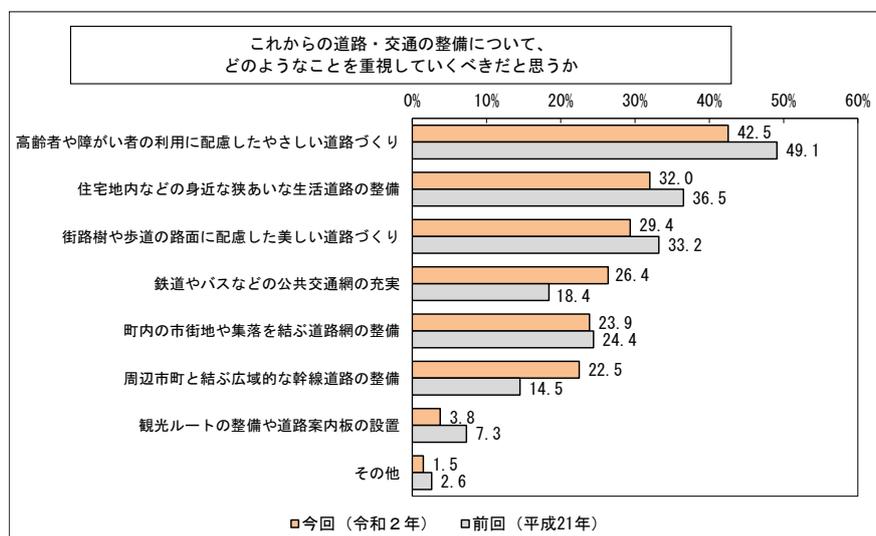
前回策定時と比較すると、「河川や山林などの自然環境の保全」や「歴史的資源を活かした景観づくり」等が減少している一方、「安全性・防災性の向上」や「利便性を向上させる道路やコミュニティバスなどの公共交通機関の充実」等は増加しています。



### (6) 道路・交通についての重点施策

「高齢者や障がい者の利用に配慮したやさしい道路づくり」が42.5%と最も多く、次いで「住宅地内などの身近な狭あいな生活道路の整備」が32.0%、「街路樹や歩道の路面に配慮した美しい道路づくり」が29.4%となっています。

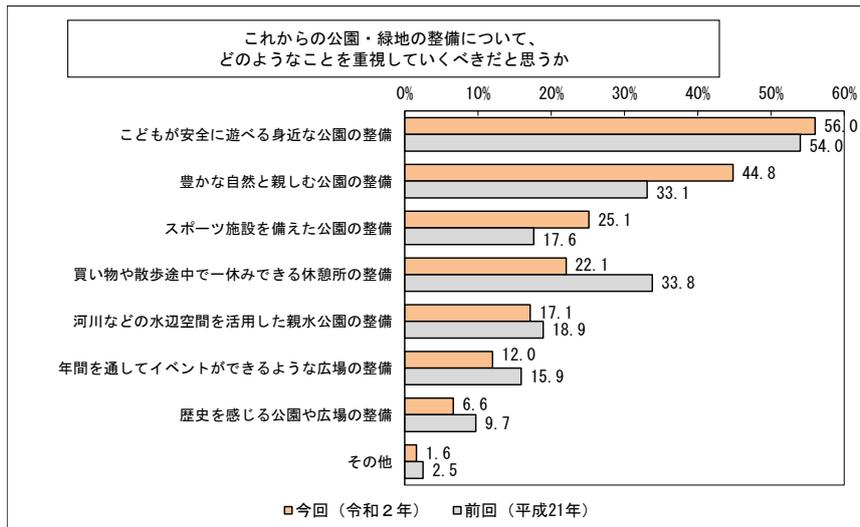
前回策定時と比較すると、上位3項目は同じであったが、割合は減少しています。一方で、「周辺市町と結ぶ広域的な幹線道路の整備」や「鉄道やバスなどの公共交通網の充実」は増加しています。



## (7) 公園・緑地についての重点施策

「こどもが安全に遊べる身近な公園の整備」が56.0%と最も多く、次いで「豊かな自然と親しむ公園の整備」が44.8%、「スポーツ施設を備えた公園の整備」が25.1%となっています。

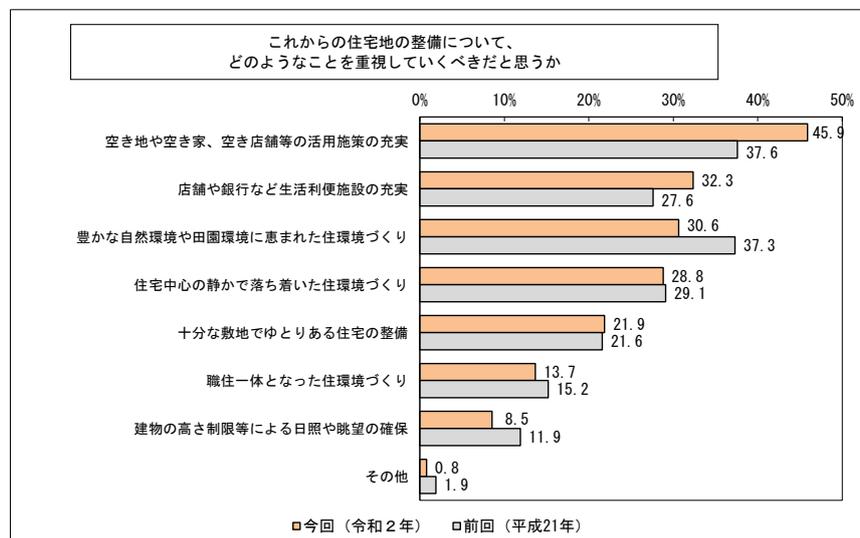
前回策定時と比較すると、最も多い項目は「こどもが安全に遊べる身近な公園の整備」で同じとなっています。また、「買い物や散歩途中で一休みできる休憩所の整備」等が減少している一方、「豊かな自然と親しむ公園の整備」や「スポーツ施設を備えた公園の整備」等は増加しています。



## (8) 住宅地についての重点施策

「空き地や空き家、空き店舗等の活用施策の充実」が45.9%と最も多く、次いで「店舗や銀行など生活利便施設の充実」が32.3%、「豊かな自然環境や田園環境に恵まれた住環境づくり」が30.6%となっています。

前回策定時と比較すると、最も多い項目は、「空き地や空き家、空き店舗等の活用施策の充実」で同じとなっています。また、「豊かな自然環境や田園環境に恵まれた住環境づくり」や「建物の高さ制限等による日照や眺望の確保」等が減少している一方、「空き地や空き家、空き店舗等の活用施策の充実」や「店舗や銀行など生活利便施設の充実」等は増加しています。

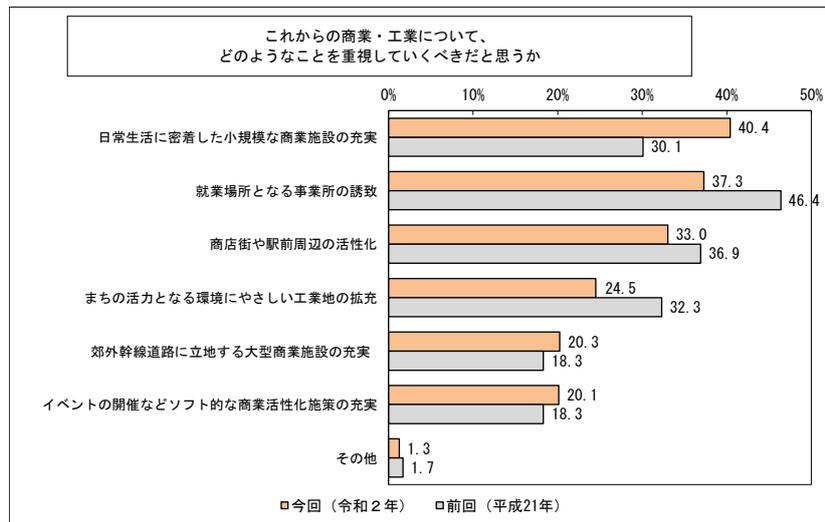


## 第1章 石井町の特性とまちづくりの課題

### (9) 商業・工業についての重点施策

「日常生活に密着した小規模な商業施設の充実」が40.4%と最も多く、次いで「就業場所となる事業所の誘致」が37.3%、「商店街や駅前周辺の活性化」が33.0%となっています。

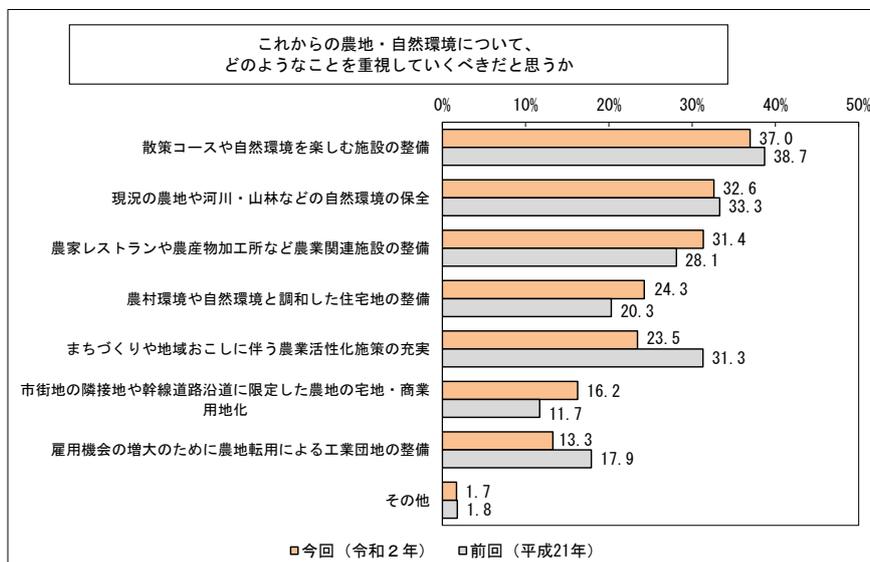
前回策定時と比較すると、「就業場所となる事業所の誘致」や「まちの活力となる環境にやさしい工業地の拡充」等が減少している一方、「日常生活に密着した小規模な商業施設の充実」等は増加しています。



### (10) 農地・自然環境についての重点施策

「散策コースや自然環境を楽しむ施設の整備」が37.0%と最も多く、次いで「現況の農地や河川・山林などの自然環境の保全」が32.6%、「農家レストランや農産物加工所など農業関連施設の整備」が31.4%となっています。

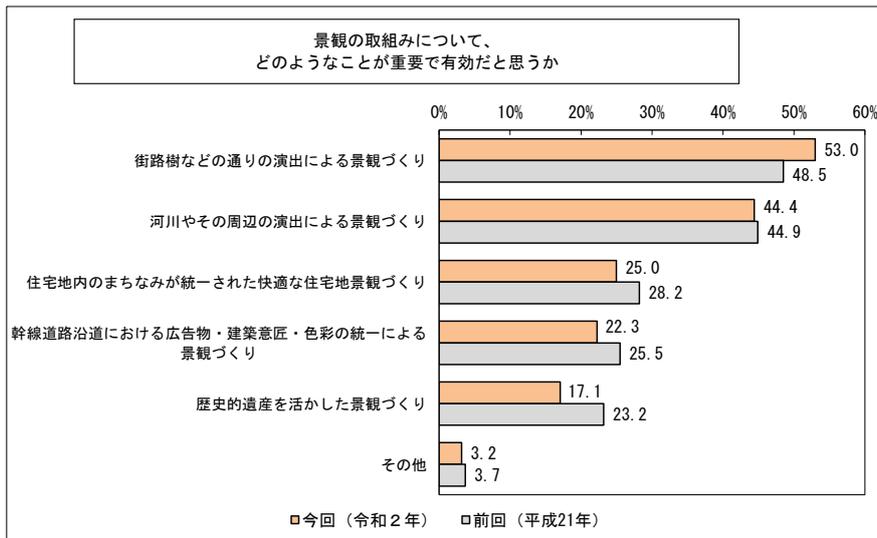
前回策定時と比較すると、上位2項目は同じとなっています。また、「まちづくりや地域おこしに伴う農業活性化施策の充実」や「雇用機会の増大のために農地転用による工業団地の整備」等が減少している一方、「農村環境や自然環境と調和した住宅地の整備」や「市街地の隣接地や幹線道路沿道に限定した農地の宅地・商業用地化」等は増加しています。



## (11) 景観についての重点施策

「街路樹などの通りの演出による景観づくり」が53.0%と最も多く、次いで「河川やその周辺の演出による景観づくり」が44.4%、「住宅地内のまちなみが統一された快適な住宅地景観づくり」が25.0%となっています。

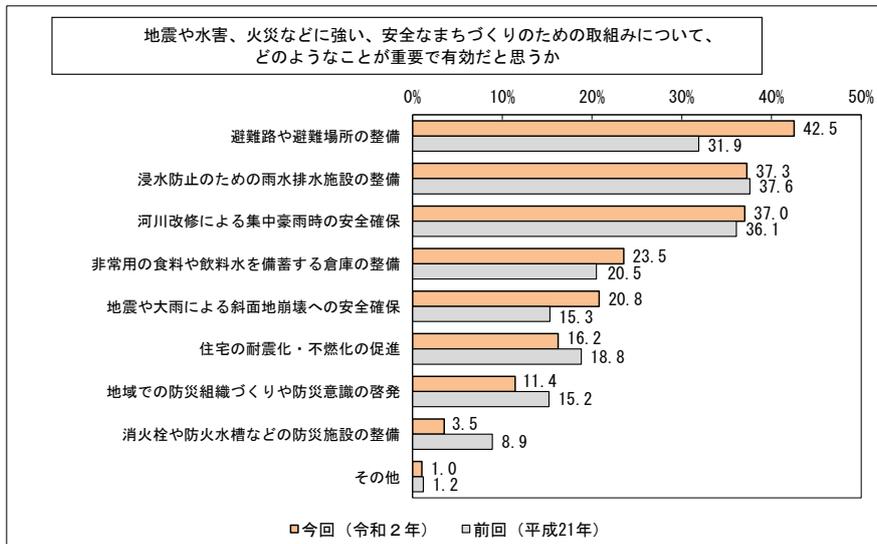
前回策定時と比較すると、上位3項目は同じとなっています。また、ほとんどの項目が減少している一方、「街路樹などの通りの演出による景観づくり」のみ増加しています。



## (12) 防災についての重点施策

「避難路や避難場所の整備」が42.5%と最も多く、次いで「浸水防止のための雨水排水施設の整備」が37.3%、「河川改修による集中豪雨時の安全確保」が37.0%となっています。

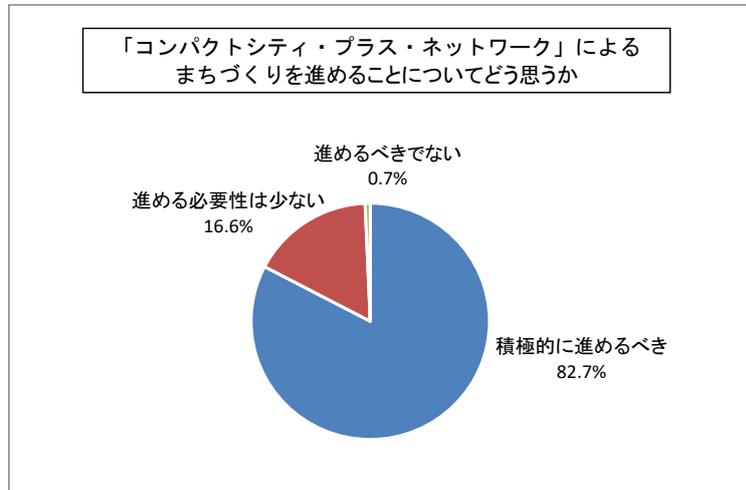
前回策定時と比較すると、「消火栓や防火水槽などの防災施設の整備」や「地域での防災組織づくりや防災意識の啓発」等が減少している一方「避難路や避難場所の整備」や「地震や大雨による斜面地崩壊への安全確保」等は増加しています。



## 第1章 石井町の特徴とまちづくりの課題

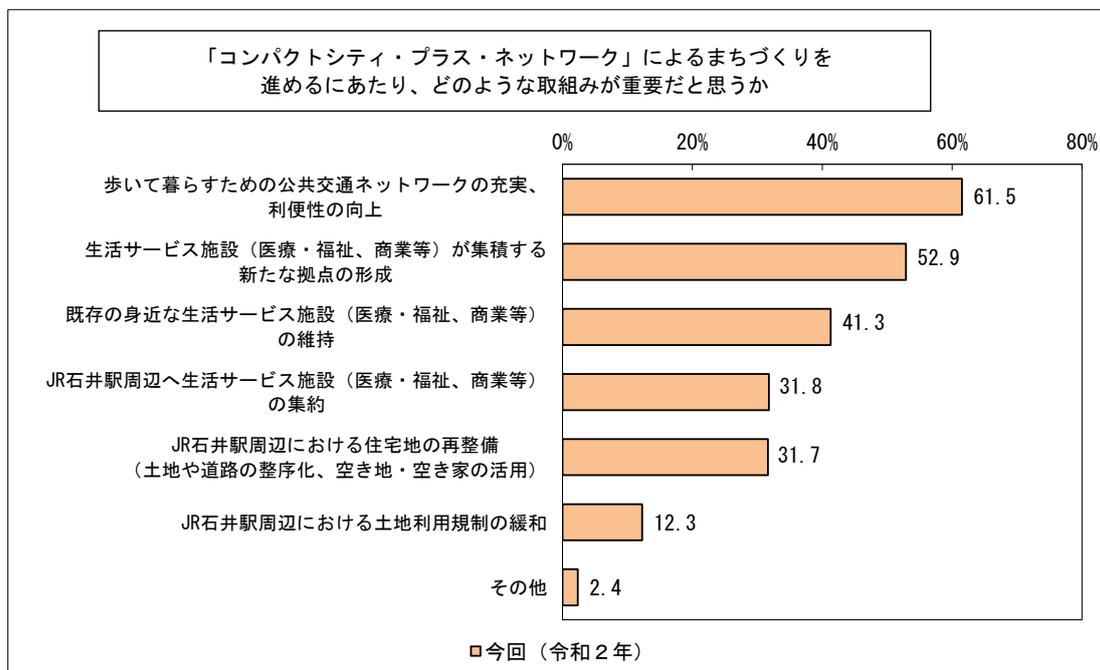
### (13) 『コンパクトシティ・プラス・ネットワーク』によるまちづくりについて

「積極的に進めるべき」が82.7%と最も多く、次いで「進める必要性は少ない」が16.6%となっています。



### (14) 『コンパクトシティ・プラス・ネットワーク』によるまちづくりについての重点施策

「歩いて暮らすための公共交通ネットワークの充実、利便性の向上」が61.5%と最も多く、次いで「生活サービス施設（医療・福祉、商業等）が集積する新たな拠点の形成」が52.9%、「既存の身近な生活サービス施設（医療・福祉、商業等）の維持」が41.3%となっています。



※前回（平成21年）なかった項目であるため、今回（令和2年）のみ掲載

### 3. まちづくりの課題

#### 3-1. 主要な課題

##### (1) 地域づくり

###### 1) 人口減少、少子・高齢化の進行に対応したまちづくり

- ・若年層の人口減少が進み、そのことが出生数の減少を招く「負のスパイラル」に陥る可能性があります。また、人口減少に伴い、地域コミュニティの活動が衰退することが想定されます。
- ・住民意向では、石井町全体の将来像において「老後の生活を送るところとして最適な場所」や「若い子どもを育てるところとして最適な場所」が特に求められていることから、誰もが歩いて暮らせるまちづくりを考えていく必要があります。
- ・全国的に人口減少している中、徳島東部都市計画区域全体においても人口減少が進んでいます。本町においても同様な状況ではあるものの、徳島東部都市計画区域全体よりも緩やかに人口減少しているため、引き続き人口減少の抑制に繋がる施策等を促進する必要があります。

###### 2) 定住化対策（若者の町外流出の抑制・UJIターン者の受け入れ）

- ・人口減少に伴い、全ての産業において絶対的な労働力の減少、産業の低迷、特に農業や商業などにおける後継者不足への懸念などの問題が生じています。
- ・若者の定住環境を確保するためには、産業の振興・活性化による雇用の場の確保を図るとともに、若者向け住宅等の定住基盤の整備、まちの魅力づくり、子育て支援など総合的な対策が必要となります。

###### 3) 地域特性を活かした個性豊かなまちづくり

- ・本町は、市街地をはじめ、田園集落地など多様な地域特性を有しています。地域間競争が激化する中で、それぞれの地域の魅力を活かした個性豊かなまちづくりが求められています。

##### (2) 土地利用

###### 1) 持続可能な都市の実現に向けた効果的・計画的な土地利用

- ・人口減少・高齢化が進行する中で、日常生活サービス機能を維持し、財政面や経済面で持続可能な都市の形成を実現することが求められています。
- ・そのため、都市機能を集約した利便性の高い都市拠点づくりをはじめ、公共交通を軸とした生活スタイルへの誘導に向けた効果的な施策等が必要となります。

###### 2) 地域の活性化や定住につながる計画的な土地利用

- ・主要地方道徳島鴨島線の沿道等において、地域の活性化や定住につながる新たな土地利用需要が生じた際には、周辺環境との調和や都市機能の集積等の観点も踏まえつつ、地区計画等により適正な土地利用の誘導を促していくことが必要です。
- ・また、撤退した企業の跡地など、まとまった低未利用地が存在することから、所有者等の意向も踏まえつつ、計画的な土地利用を促していくことが必要です。

### 3) 空き家・空き店舗、空地等の積極的な利活用

- ・現在、相談窓口や空き家バンクを設置し、空き家の活用が図られています。さらなる定住移住の促進に向けて、空き家等の積極的な情報発信と活用に向けた支援が求められています。
- ・街中における空地等については、周辺の立地環境等も踏まえつつ、広場やポケットパーク等として整備を図り、平常時におけるコミュニティ活動の場として、また、災害時におけるオープンスペースとして活用を促すなど、計画的な利用を検討していくことが必要です。
- ・住民意向では、今後の住宅地の整備において「空き地や空き家、空き店舗等の活用施策の充実」が特に求められています。

### 4) 優良農地等の保全

- ・本町は、県平均に比べて第一次産業の就業人口の比率が高く、農業が特徴的な産業の一つとなっています。
- ・一方で、農地転用も進められており、優良農地等の保全を適切に図るとともに、居住環境の向上や地域の活性化に向けた土地利用との調整を図っていくことが必要です。

## (3) 交通

### 1) 成熟社会に対応した交通基盤の整備

- ・本町は、一般国道192号や主要地方道徳島鴨島線の東西幹線道路ネットワークにより、徳島市へのアクセス性も高く、広域的な交通体系に一定の整備が図られています。
- ・一方、市街地内の補助幹線道路は歩道等の未整備や狭あい道路も多いなど、円滑な移動や交通安全性からも支障があり、防災上の課題も抱えています。

### 2) 都市計画道路の計画的な整備

- ・都市計画道路の整備率が低くなっている一因である、徳島駅鴨島線（国道192号）については、関係機関との協力のもと整備に向けて取り組むことが必要です。
- ・町管理の都市計画道路については、計画的な整備を図るとともに、交通需要や実現性等を踏まえつつ、必要性の検証を行っていくことが必要です。

### 3) 誰もが歩いて暮らせる環境づくり

- ・JR石井駅を中心に市街地が形成され、徳島市と近接する立地特性から、公共交通を利用することで、容易にアクセスすることができます。
- ・今後、更なる高齢化が進展することが想定される中、公共交通の重要性が高まることが考えられるため、公共交通の利用料の助成等、利用促進を図りつつ、誰もが歩いて暮らせる環境づくりを進めることが必要です。
- ・住民意向では、「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」によるまちづくりを進めるにあたり、「歩いて暮らすための公共交通ネットワークの充実、利便性の向上」が最も重要な取組となっています。

### 4) 公共交通の利用促進

- ・JRや路線バスの利便性が高い地域であるものの、利用客の減少等により、事業者等においては厳しい経営環境におかれています。
- ・高齢者や子どもたちの移動手段として公共交通の維持を図るためにも、様々な機会を通じて公共交通の利用促進を啓発していく必要があります。

### (4) 都市施設・地域基盤施設の整備

#### 1) 適正な公共施設の維持・更新

- ・公共施設をはじめ、町全体のインフラ施設の将来の更新費用の推計を見ると、毎年大きな負担となることが想定されます。
- ・今後、全国規模で進行している少子高齢化や人口減少を受け、税収減・扶助費増が見込まれ、財源の不足となることが想定されるため、公共施設の集約や廃止等、適切な規模やあり方を広域的な視点も踏まえて検討していく必要があります。

#### 2) 公園・緑地の確保

- ・公園・緑地等のオープンスペースは、子どもの遊び場やレクリエーションの場、自然環境の保全等の機能とあわせて、災害時における避難場所や延焼遮断帯等の防災・減災機能を有することから、計画的な確保に努める必要があります。
- ・住民意向では、今後の公園・緑地の整備において「こどもが安全に遊べる身近な公園の整備」や「豊かな自然と親しむ公園の整備」が求められています。

### (5) 市街地整備

#### 1) 商工業の振興

- ・既存商業地においては、大型店との共存共栄を図るため、商店間の連携による商店街景観整備、イベントの開催等、個性豊かで利便性の高い商店街を形成することが必要です。
- ・本町には食品工場、精密機械工場等が誘致されており、大手企業、中堅企業もあるものの、全体的には零細企業の割合が高く、青壮年者の就業場所は十分ではありません。そのため、新たな就業の場の確保が必要です。
- ・住民意向では、今後の商業・工業において「日常生活に密着した小規模な商業施設の充実」や「就業場所となる事業所の誘致」が求められています。

#### 2) コンパクトなまちづくり

- ・少子・高齢化が進行する中、市街地の拡大は公共サービスの効率性が低下するだけでなく、車での移動が中心となるなど高齢者が住みづらい環境となる可能性があり、計画的な市街地の形成を促していくことが必要です。
- ・住民意向では、「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」の促進について「積極的に進めるべき」と答えた方が多くいました。

### (6) 地域防災

#### 1) 災害に強いまちづくり、地域づくり

- ・東日本大地震を契機として、人々の日常生活上の安全性への関心は非常に高まっており、地震災害や毎年のように起こる風水害を含め、あらゆる災害に対応できる防災対策が必要となっています。
- ・今後30年以内に70%~80%の確率で起こると予想される南海トラフ巨大地震をはじめとする様々な災害に対して、安全で安心なまちづくりを行うには、災害発生時の応急体制や災害対策などのほか、住民の防災意識の高揚、自主防災組織の育成などハード、ソフトの両面からさらなる対策が必要です。
- ・住民意向では、町の将来像について「災害に強いまち」が求められています。また、そのためには、「避難路や避難場所の整備」、「浸水防止のための雨水排水施設の整備」や「河川改修による集中豪雨時の安全確保」の取組が求められています。

#### 2) 国土強靱化に向けた取組

- ・徳島県国土強靱化地域計画や石井町国土強靱化地域計画をもとに、強靱な石井町の実現に向けた多様な取組を進めていく必要があります。

### (7) 自然・景観

#### 1) 豊かな自然環境の適切な保全・管理

- ・本町は吉野川や飯尾川など恵まれた自然環境を有する一方で、ポイ捨てや不法投棄、ごみの野外焼却などの問題が深刻化しています。本町の美しい自然環境を後世に引き継ぐため、住民団体による清掃活動をはじめ、環境パトロールの実施などを継続するとともに、来訪者の環境美化の意識醸成に努めることが重要です。
- ・また、豊かな自然環境は水資源の涵養や生物の成育、生息域等の貴重な自然環境であることから、適切な保全、管理を行うことが重要です。
- ・住民意向では、今後の農地・自然環境において「散策コースや自然環境を楽しむ施設の整備」や「現況の農地や河川・山林などの自然環境の保全」が求められています。

#### 2) 資源循環型のまちづくり

- ・地球温暖化をはじめとした地球規模での環境問題が進行する中で、本町においても温室効果ガスの削減に向けたごみの減量等、官民一体となった環境への取組が求められています。
- ・その中で、省資源・省エネルギー、リサイクルといった資源循環型の環境に配慮したまちづくりを構築することが重要となります。

#### 3) 景観づくりによるにぎわいの再生

- ・地域特有の景観を守り育むとともに、観光施策と連携した活用によるまちのにぎわいの再生が求められています。
- ・住民意向では、景観の取組において「街路樹などの通りの演出による景観づくり」や「河川やその周辺の演出による景観づくり」が求められています。

### 4) 藍の魅力の発信

- ・阿波藍が日本遺産に認定されたことを踏まえ、藍の魅力のさらなるPR強化や施設整備等を検討していく必要があります。

### (8) 計画の推進

#### 1) 住民協働によるまちづくりの推進

- ・まちづくりには、住民や事業者、行政等、それぞれが主体的に役割を果たし、補完しあいながら、取組んでいくことが求められています。